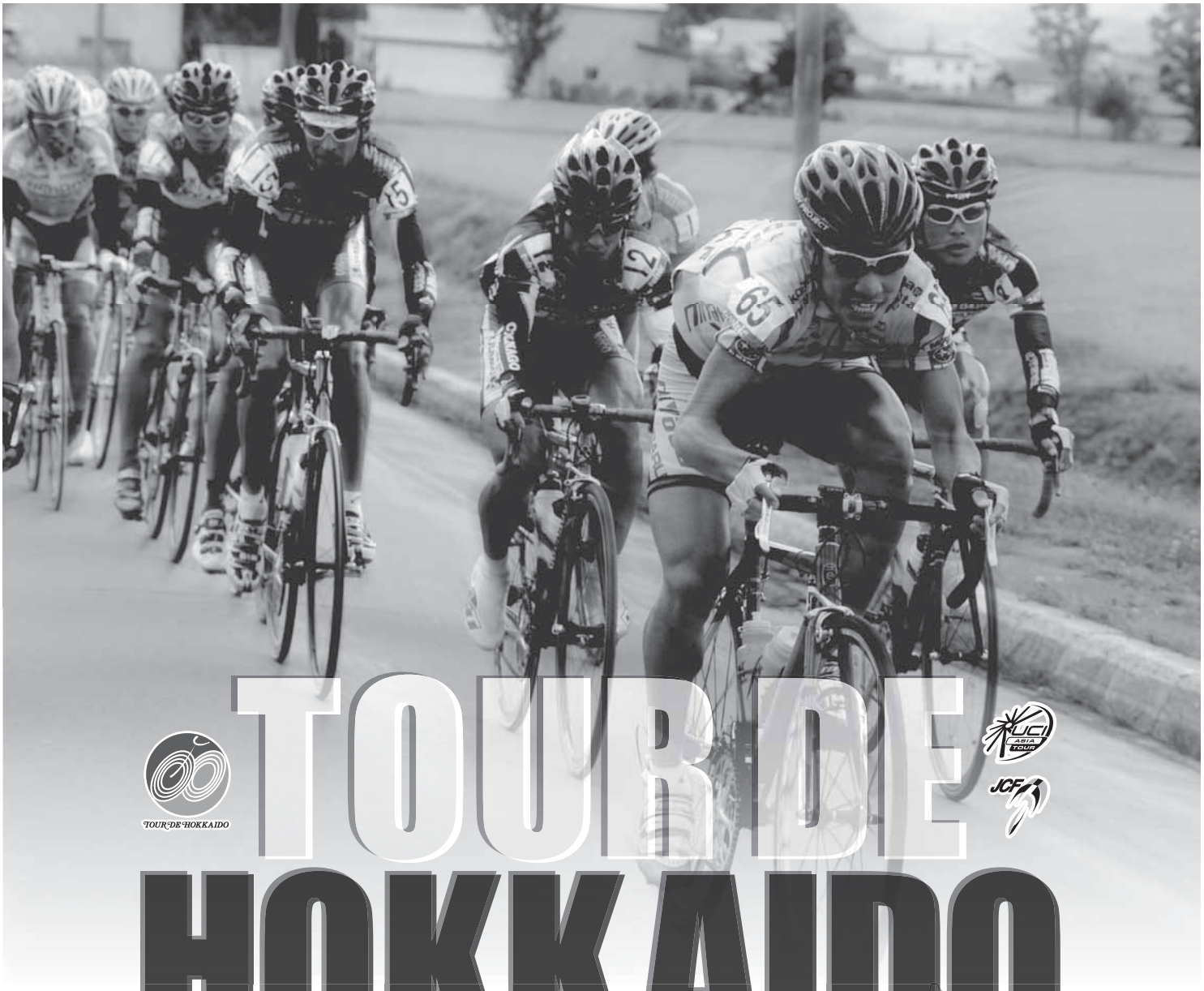


TOUR DE HOKKAIDO

# TOUR DE HOKKAIDO

## 第25回 2011

# ツール・ド・北海道2011 事業報告

2011 RACE REPORT

# 2011 Course Layout

## 2011 コースレイアウト

**総走行距離／581km・7市17町1村**

Ⓢ スタート／START
Ⓕ フィニッシュ／FINISH
TT 個人タイムトライアル／INDIVIDUAL TIME TRIAL
HS ホットスポット／HOT SPOT
山岳ポイント／KING OF MOUNTAINS
補給所／FEED ZONE

●お問い合わせ先／For further information
〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目 北四条ビル4階
Kita 4-jo Bldg. North 4,West 6, Chuo-ku, Sapporo, 060-0004 Japan
(財)ツール・ド・北海道協会／Tour de Hokkaido Association
電話(011)222-5922 ファックス(011)232-4604
Tel+81-11-222-5922 Fax+81-11-232-4604

http://www.tour-de-hokkaido.or.jp
E-mail tourde-h@spice.ocn.ne.jp
E-mail tourdech@jasmine.ocn.ne.jp(for English)

北海道の広大な自然を舞台にいくつものドラマを生み出した、我が国最大の自転車ステージレース「ツール・ド・北海道2011」。今年で25回目を迎え、9月16日(金)から19日(月)までの4日間、道東、道央地域を中心に開催された。

今年も世界各国からやってくる強豪たち、ワールドレースで日本勢がどのように戦い勝ち抜いていくのか、チーム単位での高度な戦略と健闘が期待される大会であるが、今年は、帯広市中央公園からスタートするロードレースを皮切りに道東・道央地域の25市町村を通過した。

最終日は、札幌市モエレ沼公園のタイムトライアルで終え、4ステージ、4日間のステージレースとなり、開催期間中の総走行距離は581kmとなった。

大会初日となる9月16日(金)の第1ステージは、帯広市の中央公園からスタート、比較的アップダウンの少ない平坦な十勝の田園地帯をひたすら走り続け、国道241号から阿寒国立公園山岳地帯に入り、弟子屈町から一気に360度の地平線が見える標高174mの標茶町多和平へと向かい、展望台頂上でフィニッシュした。

9月17日(土)第2ステージは、弟子屈町川湯温泉「川湯園地」からスタート、阿寒国立公園屈斜路湖畔沿いを走り、国道243号を左折、北見と釧路圏を結ぶ最短ルートである標高754mの津別峠を登り切り、津別町を経て陸別、足寄、上士幌、士幌、そして鹿追町市街の中心部に入り、経済観光交流館前にてフィニッシュした。

9月18日(日)第3ステージは、他のコースと比較するとフラットなコースが長く続くが、日高、穂別付近の山岳地帯を経て国道274号線の登川トンネル通過後、下り勾配で一斉に高速走行になり、以後、江別市までの距離を最後のロードレースとして各チーム同志の駆け引きなど、スピード感の溢れる展開が続き、野幌総合運動公園内の直線距離約600m、各選手の集団が一気にフィニッシュした。

最終日の9月19日(月・祝日)第4ステージは、札幌市モエレ沼公園の特設コース、1周2.75kmの個人タイムトライアル競技を行った。フラットな2.75kmのコースを30秒間隔でスタートした。

初日から阿寒国立公園の山岳ステージ、そして屈斜路湖を経た津別峠からの峠越え、広大な十勝の田園地帯など大自然を生かした北海道ならではと言えるコースを設定した大会であった。

また、参加チームは、海外チーム5、国内及び学生チーム15の合計20チームの選手が参加した。

# ツール・ド・北海道2011　事業報告書

## ●大会概要

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1.事業開始 | 2011年5月20日（金）　札幌市中央区北2条西7丁目「かでる2・7」において、「ツール・ド・北海道2011」実行委員会を開催。 | | | | | |
| 2.事前会議 | 2011年9月15日（木）　役員打合せ会議、参加チーム受付、ライセンスコントロール、審判合同会議、部門別会議、監督会議、報道会議<br>ドライバーズ・ミーティング、アンチドーピング会議 | | | | | |
| 3.大会期間 | 第25回　2011年9月16日（金）～9月19日（月・祝）　4日間 | | | | | |
| 4.ステージレース | 日程 | 日程 | 競技 | 経路・会場 | 距離（km） | 道路別距離（km） |
| | | 9月16日（金） | 第1ステージ（ロードレース） | 帯広市～標茶町 | 198 | 国道／259.6 |
| | | 9月17日（土） | 第2ステージ（ロードレース） | 弟子屈町～鹿追町 | 210 | 道道／277.5 |
| | | 9月18日（日） | 第3ステージ（ロードレース） | 占冠村～江別市 | 171 | 市町村道／41.1 |
| | | 9月19日（月・祝） | 第4ステージ（タイムトライアル） | 札幌市 | 2.75 | その他／2.75 |
| | 参加チーム | 海外5チーム | ジャイアント ケンダ サイクリングチーム（チャイニーズ・タイペイ）、ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO（イタリア）<br>アルベ-ゲブリューデル ヴァイス-オーベルンドルファー（オーストリア）、トレンガヌ サイクリングチーム（マレーシア）<br>大韓民国自転車競技連盟チーム | | | |
| | | 国内15チーム<br>（学生6チーム） | 宇都宮ブリッツェン、シマノレーシングチーム、チーム ブリヂストンアンカー、マトリックス パワータグ<br>シエルヴォ奈良プロサイクリングチーム、湘南ベルマーレ、なるしまフレンド レーシングチーム八王子<br>パールイズミ・スミタ・ラバネロ、北海道地域選抜、鹿屋体育大学、京都大学、順天堂大学、法政大学<br>早稲田大学、北海道大学 | | | |
| | ●選手99名、役員85名　計184名 | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5.市民レース | 日程・参加者数 | 日程 | 競技 | 経路・会場 | 距離（km） | 申込者数（人） | | | 参加者数（人） | | | |
| | | 9月17日（土） | 市民タイムトライアル | 夕張市 | 1.0 | 323 | | | 292 | | | |
| | | 9月18日（日） | 市民ロードレース Aコース | むかわ町～江別市 | 109 | 141 | 499 | 1,240 | 128 | 446 | 1,102 | |
| | | | 市民ロードレース Bコース | 夕張市～江別市 | 66 | 358 | | | 318 | | | |
| | | 9月19日（月・祝） | 市民クリテリウム | 札幌市 | 1.5～36 | 418 | | | 364 | | | |

| | | |
|---|---|---|
| 6.関係市町村 | 総数 | 25市町村（7市17町1村） |
| | 地元賞等協力 | 標茶町、鹿追町、江別市、札幌市 |
| 7.関係者 | 役員 | 大会役員 74名、実行委員 107名、競技役員175名　計356名 |
| | 交通整理等 | 警察官 386名、警備員 399名、コース整理員 1,094名　計1,879名 |
| 8.広報・安全関係 | 広報対策 | ポスター 6,000枚、規制チラシ 45,000枚、新聞（道新、読売、朝日、毎日）、日本道路交通情報センター<br>テレビ放映（HTB 10/3、BS朝日 10/10、テレビ朝日CS 11/11） |
| | 安全対策 | 交通規制・競技看板 391枚、セーフティコーン 1,496本、バリケード 980m |
| 9.観客数 | 42,440人 | |
| 10.印刷物等 | ガイドブック 10,000部、テクニカルガイド 500部、選手名簿 3,000部、事業報告書 650部<br>宿泊施設数 8カ所、使用車両台数 101台／ステージ | |
| 11.まとめ | 本大会は25回目を迎え、9月16日、帯広市での開会式・第1ステージ（ロードレース）を皮切りに、9月19日、札幌市モエレ沼公園での第4ステージ（タイムトライアル）を最後に4日間に及ぶステージレースを成功裡に終了することができた。<br>今大会においても、道東・道央地域における観光資源及び産業の開発、文化の振興、国民の健康、体力の増進に貢献し、また、地域とのコミュニケーションを一層深めるとともに国際親善にも寄与することができた。<br>また、市民レースにおいても、道外から91名が参加するなど、年々参加者数が増加しており、サイクルスポーツの普及・振興に大きく貢献する成果があった。 | |

## ●収支予算書・決算書

（収入の部）　（単位:千円）

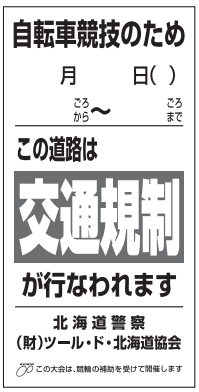
| 科目 | 予算 | 決算（概算） | 備考 |
|---|---|---|---|
| 1. 補助金等収入 | 1,200 | 1,250 | 市・町 |
| 2. JKA補助金収入 | 42,800 | 43,662 | （財）JKA |
| 3. スポーツ振興くじ助成金収入 | 2,257 | 2,031 | （独）日本スポーツ振興センター |
| 4. 寄付金等収入 | 32,570 | 32,710 | 一般寄附金等 |
| 5. 協賛金収入 | 10,900 | 12,070 | |
| 6. 参加料収入 | 5,797 | 6,398 | |
| 7. 基本財産運用収入 | 4,459 | 2,486 | |
| 8. 雑収入 | 0 | 722 | |
| 9. 前年度繰越 | 4,751 | 1,339 | |
| 合計 | 104,734 | 102,668 | |

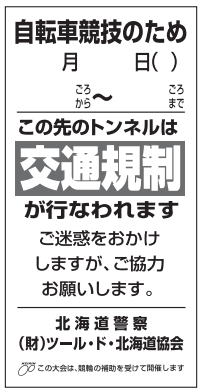
（支出の部）　（単位:千円）

| 科目 | 予算 | 決算（概算） | 備考 |
|---|---|---|---|
| 1. 大会運営費 | 23,741 | 23,468 | 設営費、式典費、事務費等 |
| 2. 広報費 | 19,940 | 19,944 | TV撮影費、新聞広告費、ポスター等 |
| 3. 競技運営費 | 43,563 | 43,423 | 参加チーム旅費、車両等機材借上等 |
| 4. 警備救護費 | 17,490 | 15,833 | 交通規制標識、医師等派遣費、<br>警備員費等 |
| 合計 | 104,734 | 102,668 | |

# ツール・ド・北海道2011　使用看板の種類

## ●コース内看板






## ●コース外看板

## ●注意看板

左折注意/Turn left

直進/Go straight

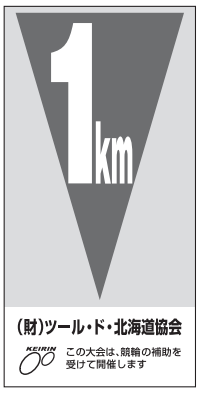
左折注意/Turn left

右折注意/Turn right

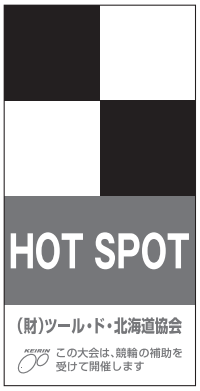
右左折注意/Turn right and left

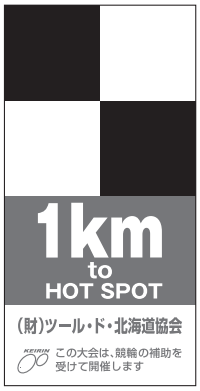
右折注意/Turn right

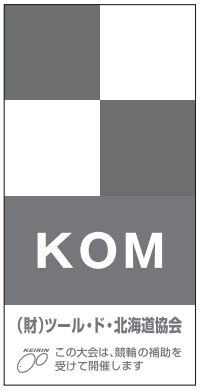
## ●距離表示看板



## ●ポイント看板





# ツール・ド・北海道2011　報道・広報-1

●ポスター

●HP トップページ

●交通規制広告-1

●HP 市民レース関連ページ

●交通規制広告-2

●交通規制広告-3

北海道新聞　2011年（平成23年）5月21日（土曜日）

# 600キロ 銀輪疾走

## 9月にツール・ド・北海道

国内最大級のロードレース、ツール・ド・北海道2011（ツール・ド・北海道協会、日本自転車競技連盟主催、北海道新聞社特別協力）の日程とコースが20日、発表された。25回目の今年は、9月16日から4日間で、道東と道央計24市町村を舞台に熱戦を繰り広げる。

道東コースは8度目。16日に帯広市で行われる開会式に続き、ロードレース、タイムトライアルの全4ステージ約600キロを走り抜ける。出場は20チームで、国内15チーム、海外5チームの予定。

また、一般競技者が参加できる市民レースは17日から3日間の日程で行われ、6月13日から申し込みを受ける。

## 道東、道央舞台に4ステージ

大会の日程とコースは次の通り。

▽9月16日　第1ステージ198キロ（帯広市―釧路管内標茶町）▽17日　第2ステージ210キロ（釧路管内弟子屈町―十勝管内鹿追町）▽18日　第3ステージ188キロ（上川管内占冠村―江別市）▽19日　第4ステージ2・75キロタイムトライアル（札幌市モエレ沼公園）

●5/21 北海道新聞

スポーツ報知　2011年（平成23年）5月21日（土曜日）

# ツール・ド・北海道11、9月16日開幕

ツール・ド・北海道協会は20日、今年の「ツール・ド・北海道2011」の開催概要を発表した。道東と道央を舞台に9月16日から19日まで4日間、熱戦を繰り広げる。

日程は、第1ステージ（16日・帯広市～標茶町198キロ）、第2ステージ（17日・弟子屈町～鹿追町210キロ）、第3ステージ（18日・占冠村～江別市の188キロ）がロードレース。第4ステージ（19日・札幌）はタイムトライアル（2・75キロ）。大会には国内外20チーム、約100選手が参加予定。夕張市などで市民レースも行われる。

レイアウト　福綱　裕次

●5/21 スポーツ報知

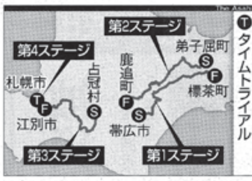
朝日新聞　2011年（平成23年）6月7日

# 道東～道央600キロ 20チーム疾走

## ツール・ド・北海道 9月16日スタート

スポーツ

国内最大規模の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2011」が、今年は9月16日から4日間の日程で開かれる。国内外の20チームの参加が見込まれており、道東から道央にかけて総計約600キロのコースを走り抜ける。市民レースも予定され、6月中旬から参加者を募る。




大会は25回目で、道東がコースになるのは3年ぶり8回目。第1ステージは帯広市の中央公園を出発、眺望が壮観な標茶町の多和平展望台でフィニッシュする198キロ。第2ステージは弟子屈町～鹿追町の今大会最長の210キロのコースだ。第3ステージは占冠村～江別市野幌総合運動公園の188キロ。後半の下り勾配ではスピード感あふれるレースが展開されそうだ。

最終日の第4ステージは札幌市東区のモエレ沼公園の1周2・75キロの特設コースで、個人のタイムトライアルが行われる。

### 市民レース参加受け付け 今月中旬から

市民レースは9月17～19日。17日は夕張市平和運動公園内の1キロコースで個人タイムトライアル。18日はロードレースが二つ。一つは、むかわ町穂別地球体験館前から野幌総合運動公園までの125キロ。もう一つは夕張市のホテルマウントレースイ前から同じゴールまでの78キロ。19日は、モエレ沼公園で同じコースを周回するクリテリウムがあり、幼児も参加できる。

市民レース参加の受け付けは6月13日～7月30日。申し込みはファクス（0120・37・8434）かインターネット（http://www.sportsentry.ne.jp）で。問い合わせはツール・ド・北海道市民担当係（011・222・5922）へ。

●6/7 朝日新聞

日刊スポーツ　2011年（平成23年）5月21日　土曜日

# 9・16～19開催

## ツール・ド・北海道

北海道を舞台に行われる自転車のロードレース「ツール・ド・北海道」の実行委員会は20日、今年の大会概要を発表した。9月16～19日に4ステージでレースを展開。帯広市をスタートし、ゴールの江別市まで計約600キロの距離を競い合う。最終ステージは札幌市でタイムトライアルを開催する。

●5/21 日刊スポーツ

2011年（平成23年）9月15日（木曜日）　北海道新聞

# 秋風切り580キロ疾走

## ツール・ド・北海道 あす開幕

国内最大級のステージ制自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2011」は16日、帯広市と釧路管内標茶町を結ぶ198キロの第1ステージで幕を開ける。25回目を迎える今年は19日までの4日間で、道東から道央にかけての4ステージ計約580キロを駆け抜ける。スピード感あふれるレースの見どころを紹介する。

（ツール・ド・北海道協会、日本自転車競技連盟主催、北海道新聞社特別協力）

### 時間や順位で計4部門

#### 個人・団体賞

1チーム4～5人で構成し、個人と団体の計4タイトルを争う。個人は総合時間、総合ポイント、総合山岳の三つ、団体は総合時間のみ。最高栄誉の個人総合時間1位には「北海道カップ」が贈られる。各ステージ終了時点の個人部門首位の選手は翌日のレースで、部門ごとに異なる色のリーダージャージーを着用する。各部門の内容は次の通り。

【個人】

◇総合時間賞（リーダージャージー＝緑）

各ステージ完走タイムの合計から、ペナルティーやボーナスを加減した時間を競う。ボーナスは各ステージの上位3人と、第1～3ステージの途中に設けられたホットスポットの上位通過3人にそれぞれ与えられる。

◇総合ポイント賞（同＝青）

ホットスポットの通過順位による得点と、各ステージのゴール順位による得点の合計点を競う。

◇総合山岳賞（同＝赤）

第1～3ステージの峠や山岳路頂上付近に設けられた山岳ポイントの通過順位に応じて与えられる得点の合計を競う。

【団体】

◇総合時間賞

各ステージのチーム上位3人の完走タイムを合計した時間で競う。

昨年、個人総合時間賞を制した清水（中央）＝2010年9月20日

### ネットで速報

ツール・ド・北海道協会は大会期間中、ホームページで出場チームの紹介や成績速報を公開する。アドレスはhttp://www.tour-de-hokkaido.or.jp/

### レース展望

#### トップ争う増田と畑中

大会最高の栄誉、個人総合時間賞の争いは今年の実業団国内ツアー個人総合ランキングで1位の増田成幸（宇都宮ブリッツェン）と同2位の畑中勇介（シマノレーシング）を軸に展開される構図だ。

27歳の増田と26歳の畑中は、ともに平地も山岳区間もこなす万能型。サポート役のアシストの働きが、勝負を分けるだろう。

また、6月に岩手で行われた全日本選手権ロードレースで、優勝者と同タイムの3位だった清水都貴（ブリヂストン・アンカー）は、大会史上3人目の連覇を狙う。山岳コースでの強さを誇る狩野智也（ブリヂストン・アンカー）の走りも楽しみだ。

海外勢は、昨年の大会で個人総合山岳賞を取ったジャン・キュング（韓国）など、各チームとも力のある選手がそろった。

大学生では、鹿屋体大の吉田隼人、山本元喜、野口正則に注目したい。3人とも8月に中国で開かれたユニバーシアード代表で、中でも山本は、1年生だった昨年の大会で第3ステージを勝った成長株だ。

北海道地域選抜と北大の道内勢2チームも上位進出を目指す。

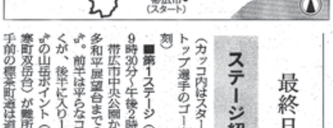
### 出場チーム

■実業団＝8チーム
宇都宮ブリッツェン、シマノレーシング、ブリヂストン・アンカー、マトリックス・パワータグ、シエルヴォ奈良、湘南ベルマーレ、なるしまフレンド、パールイズミ・スミタ・ラバネロ

■海外招待＝5チーム
韓国、台湾、イタリア、オーストリア、マレーシア

■大学＝6チーム
鹿屋体大、京大、順大、法大、早大、北大

■地域選抜＝1チーム
北海道選抜



▲ゴール直前に激しい競り合いを見せる選手たち＝2010年9月19日、恵庭市

### 最終日はモエレ沼公園

#### ステージ紹介

（カッコ内はスタート日時とトップ選手のゴール予想時刻）

■第1ステージ（16日午前9時30分～午後2時40分）
帯広市中央公園から標茶町多和平展望台までの198キロ。前半は平らなコースが続くが、後半に入り150・6キロの山岳ポイント（釧路市阿寒町双岳台）が難所。ゴール手前の標茶町道は道幅が狭い部分があり、激しい競り合いが予想される。

■第2ステージ（17日午前9時30分～午後2時54分）
釧路管内弟子屈町川湯園地から十勝管内鹿追町経済観光交流館前までの210キロ。23キロで道道588号に入ると、30・5キロの山岳ポイント津別峠まで標高差約600メートルのつづら折りカーブを一気に駆け上がる。ゴールは鹿追町の中心街。

■第3ステージ（18日午前9時30分～午後2時1分）
上川管内占冠村占冠中学校前から江別市野幌総合運動公園までの171キロ。起伏が少なく、スピードが求められる。142キロの山岳ポイント馬追山（空知管内長沼町）を越えるとほぼ平らで、チーム間の駆け引きも存分に味わえそうだ。

■第4ステージ（19日午前9時～）
札幌市モエレ沼公園内2・75キロの特設コースを、個人総合時間順位の下位から順に30秒間隔でスタートする個人タイムトライアル。スプリント力が試され、駆け引きなしの全力疾走を堪能できる。

### チームの「アシスト」

#### エース支える風よけに

自転車のロードレースでは、各チームが優勝を狙う「エース」と、エースを支える「アシスト」の二つに選手の役割を分担し、レース中に激しい駆け引きを繰り広げる。

各チームともエースは1～2人、アシストは3～4人。力のある選手がそろうチームならステージごとに役割が異なることもある。

アシストの主な仕事は、風よけだ。平均で時速40～50キロで走る選手たち。走行中に感じる空気抵抗は、見た目以上に大きい。エースが風を避けて体力を温存し、最後に瞬発力を発揮できるようにさせる。また、エースがパンクや落車などで集団から遅れた場合、アシスト数人が下がり、エースを再び集団に戻すこともある。

このほか、相手選手を複数で包囲し、ペースを惑わしたり、逆に、あえて集団から飛び出すことで、相手選手を追走させてスタミナ配分を狂わせることもある。エースにとって、アシストは不可欠な存在だ。

いずれの場合も、アシストは最後にスタミナ切れとなることも珍しくない。一方で、エースが不調の場合は、先を行くアシストが、そのまま逃げ切って優勝することもある。ツール・ド・北海道協会は「選手心理を想像しながら観戦するのもコツ」と話している。

●9/15 北海道新聞

# ツール・ド・北海道2011　報道・広報-4

●9/15 北海道新聞

●9/15 読売新聞

●9/15 朝日新聞

●9/15 毎日新聞

2011年（平成23年）9月16日（金曜日）　北海道新聞

十勝管内音更町内をパレード走行する選手たち＝16日午前9時35分（浜本道夫撮影）

## ツール・ド・北海道開幕

【帯広】国内最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2011」（ツール・ド・北海道協会、日本自転車競技連盟主催、北海道新聞社特別協力）は16日、帯広市から釧路管内標茶町までの第1ステージが始まった。国内外の20チーム計99選手が車道を駆け抜けた。

爽やかな秋晴れの空の下、色鮮やかなユニホームに身を包んだ選手たちは午前9時30分に帯広市中央公園を出発。釧路市阿寒湖畔などを経由して、198キロ先の釧路管内標茶町を目指す。最初の3・9キロは集団のまま走るパレード走行で、沿道の市民らが選手に大きな声援を送っていた。

大会は19日までの4日間、道東と道央を舞

●9/16 北海道新聞

2011年（平成23年）9月16日（金曜日）　道新スポーツ

●9/16 道新スポーツ

スポーツ報知　2011年(平成23年) 9月16日(金曜日)

●9/16 スポーツ報知

道新スポーツ　2011年（平成23年）9月17日（土曜日

ツール・ド・北海道2011（16日～帯広市～標茶町）

国内外の20チーム99選手が参加、帯広市から標茶町までの198キロによる第1ステージで開幕した。レースは、残り15キロで先頭集団が10人となり、激しいトップ争いの末に西薗良太（シマノレーシング）が4時間35分48秒で優勝した。17日は弟子屈町から鹿追町までの第2ステージ（210キロ）を行う。

…第1ステージ成績…

▽個人区間順位 ①西薗良太（シマノレーシング）4時間35分48秒②畑中（シマノレーシング）4時間35分48秒③ジャン（韓国）4時間35分53秒

▽団体区間順位 ①シマノレーシング13時間47分35秒②イタリア13時間48分33秒③ブリヂストン・アンカー13時間52分14秒＝上位3人の合計タイム

…通算成績…

▽個人総合時間順位 ①西薗良太（シマノレーシング）4時間35分38秒②畑中（シマノレーシング）4時間35分42秒③ジャン（韓国）4時間35分47秒

▽個人総合ポイント順位 ①西薗良太（シマノレーシング）25②畑中（シマノレーシング）20③ジャン（韓国）19

▽個人総合山岳順位 ①ルビアーノ（イタリア）7②ジャン（韓国）5③カンパニャーロ（イタリア）3

●9/17 道新スポーツ

日刊スポーツ　2011年（平成23年）9月17日　土曜日

## ツール・ド・北海道開幕 4日間で25市町村580キロ走破

### 第1S西園制す

国内最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が16日、帯広市から標茶町までの第1ステージ（198キロ）を皮切りに開幕した（写真）。4日間かけて道東と道央の約580キロを走り抜ける。

16日午前9時半。秋晴れの空の下、色とりどりのユニホームを着た選手らが一斉にスタートを切ると、沿道のファンが大きな声援を送った。今回の大会は、道東の広さを生かし、1ステージ当たりの距離が長いことが特徴。阿寒国立公園や十勝平野などの4ステージで構成され、25市町村を通過する。

大会は25回目で、道東を走るのは3年ぶり。19日の札幌市のモエレ沼公園でのタイムトライアルで閉幕する。イタリアや台湾などの海外からの参加を含む20チーム、99人が出場。第1ステージは西園良太（シマノレーシング）が4時間35分48秒で制した。

▽第1ステージ（198キロ）❶西園良太（シマノレーシング）4時間35分48秒❷畑中（シマノレーシング）4時間35分48秒❸張慶九（韓国）4時間35分53秒

※1、2位は着差あり

▽同団体総合❶シマノレーシング13時間47分35秒❷ダンジェロ&アンテヌッチ―NIPPO13時間48分33秒❸ブリヂストンアンカー13時間52分14秒

●9/17 日刊スポーツ

朝日新聞　2011年（平成23年）9月17日　土曜日

十勝路を駆けるツール・ド・北海道の参加選手＝音更町

## 十勝路に銀輪さっそう　ツール・ド・北海道開幕

競

国内最大規模の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2011」が16日、十勝をスタート点に開幕した。19日まで、総走行距離が約580キロに及ぶ初秋の道東、道央コースを駆ける。

25回目の今年は国内の大学や実業団のほか、イタリア、オーストリアなどの海外組を含め、計20チーム、約100人が参加した。初日の第1ステージは帯広市―標茶町の198キロ。帯広・中央公園から音更町まで約4キロパレードした後、レースが始まった。

第2ステージ（17日）は弟子屈町―鹿追町の210キロ、第3ステージ（18日）は占冠村―江別市の171キロを走破し、最終第4ステージ（19日）は札幌市東区のモエレ沼公園特設コースで2・75キロの個人タイムトライアルがある。

◇

ツール・ド・北海道のドーピング検査用マイクロバスが16日午前、浦幌町の国道38号で路外に転落する事故があった。池田署によると乗っていた2人がけがをした。このため同日のドーピング検査は中止になった。

●9/17 朝日新聞

2011年（平成23年）9月17日（土曜日）　北海道新聞

# 西薗 第1S制す

## 2位畑中 連覇狙う清水52位

ツール・ド・北海道

国内最高峰の自転車レース第1日は16日、帯広市から釧路管内標茶町までの第1ステージ（210キロ）を行う。

…第1ステージ成績…

▽個人区間順位 ①西薗良太（シマノレーシング）4時間35分38秒②畑中勇介（シマノレーシング）4時間35分48秒③ジャン（韓国）4時間35分48秒④鈴木譲（シマノレーシング）4時間35分59秒⑤カンパニャーロ（イタリア）4時間36分2秒⑥ルビアーノ（イタリア）4時間36分4秒（1、2位は着差あり）

▽団体区間順位 ①シマノレーシング13時間47分35秒②イタリア13時間48分33秒③ブリヂストンアンカー13時間52分14秒④鹿屋体大13時間54分27秒⑤マトリックス・パワータグ13時間57分42秒⑥マトレーシング13時間59分53秒⑦北海道地域選抜14時間33分23秒―上位3人の合計タイム。同タイムは3人の着順合計の少ない方を上位とする

▽個人総合時間順位 ①…通算成績…西薗良太（シマノレーシング）4時間35分38秒②畑中勇介（シマノレーシング）4時間35分48秒③ジャン（韓国）4時間35分48秒④鈴木譲（シマノレーシング）4時間35分59秒⑤ルビアーノ（イタリア）4時間36分0秒⑥カンパニャーロ（イタリア）4時間36分2秒

▽個人総合ポイント順位 ①西薗良太（シマノレーシング）25②畑中勇介（シマノレーシング）20③ジャン（韓国）19④ルビアーノ（イタリア）16⑤鈴木譲（シマノレーシング）14⑥カンパニャーロ（イタリア）12

▽個人総合山岳順位 ①ルビアーノ（イタリア）7②ジャン（韓国）5③カンパニャーロ（イタリア）3④西薗（シマノレーシング）2⑤佐野（イタリア）1

両手を突き上げゴールする西薗（左）。右は2位の畑中（小野弘貴撮影）

## 得意の展開 1、2位独占

今年の実業団国内ツアー個人総合ランキングで4位の西薗と5位の畑中が、力を存分に発揮、1位と2位を独占する会心のレースで、ともに目標とする個人総合時間賞へ好スタートを切った。

序盤から好位置につけた2人。残り15キロで10人となった集団は、徐々に

**西薗、畑中**

他の選手が遅れ「得意のサバイバルに持ち込めた」と西薗。残り2キロで3位になったジャン（韓国）と三つどもえになったが、最後の上り坂でジャンを競り落とし、2人並んでゴールした。

西薗は「お世話になった東大の先輩が8月に病気で急逝し、どうしても勝ちたかった」と満面の笑み。2008年には東大の選手として同じコースを走ったが、「当時はついていくのがやっとだった」と、脚力やスタミナ面での成長を実感する。

畑中も「西薗の勝ちをサポートできた。チームが同じだし、今の順位は問題ない」と余裕の表情を見せる。

17日の第2ステージは、今大会最長となる210キロのコース。スタート直後には厳しい峠越えもある。西薗は「自分の真価が問われる」と気持ちを引き締め、畑中も「チーム全体として調子が良いので、いろんな攻撃ができそう」と手応えを強調した。（金勝広）

●9/17 北海道新聞

秋色の大地 駆ける

ツール・ド・北海道 開幕

●9/17 読売新聞

スポーツ報知
2011年（平成23年）9月17日（土曜日）

ツール・ド・北海道開幕

## 西薗ステージV

国内最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2011」が16日、国内外から20チーム99選手が参加して開幕。帯広市～標茶町の第1ステージ（198キロ）を行った。西薗良太（シマノ）が4時間35分48秒でステージ優勝を飾り、同じシマノの畑中勇介が2位に続いた。17日は弟子屈町～鹿追町で第2ステージ（210キロ）が行われる。

●9/17 スポーツ報知

毎日新聞　2011年（平成23年）9月17日（土）

# ツール・ド・北海道開幕

## 第1ステージは帯広からスタート

国内最大の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が16日、開幕した。25回目の今年は国内外20チームの99人が出場。4日間の日程で道東・道央圏を中心に全4ステージ約580キロを駆け抜ける。

初日の第1ステージは08年以来、3年ぶりとなる帯広市からのスタート。秋空の広がった市内の中央公園から赤や緑の色鮮やかなジャージーを着た選手が走り出すと、沿道に集まった市民から大きな歓声が上がった。

第1ステージは198キロ先の標茶町がゴール地点。浦幌町直別の国道38号では午前9時35分ごろ、大会のドーピング用マイクロバスが路外に転落し、運転手と助手席の男性2人が軽傷を負ったが、レースへの大きな影響はなかった。

17日は第2ステージ＝弟子屈町―鹿追町（210キロ）があり、第3ステージ＝占冠村―江別市（171キロ）▽第4ステージ＝札幌市東区のモエレ沼公園特設コース（1周2・75キロ）を経てフィニッシュを迎える。【三沢邦彦】

歓声を浴びスタートした選手たち＝帯広市の中央公園で

●9/17 毎日新聞

# ツール・ド・北海道2011　報道・広報-8

2011年（平成23年）9月18日（日曜日）　北海道新聞

ツール・ド・北海道

## 第2S 伏兵 山下V

第2日は17日、釧路管内弟子屈町から十勝管内鹿追町までの第2ステージ（210㌔）で行われ、山下貴宏（マトリックス・パワータグ）が5時間20分38秒で優勝した。第1ステージを制した西薗良太（シマノレーシング）は、5時間20分52秒で23位だったが、個人総合時間賞で首位を守った。

個人総合ポイント賞は狩野智也（ブリヂストンアンカー）が、13位からトップに浮上。個人総合山岳賞は増田成幸（宇都宮ブリッツェン）が1位。チーム内の上位3選手の合計タイムで競う団体総合時間賞は、シマノレーシングが首位をキープした。

18日は、上川管内占冠村から江別市までの第3ステージ（171㌔）を行う。

喜びを爆発させてゴールする山下（浜本道夫撮影）

### 「第5の男」が抜け出す

勝てる―。残り500㍍で"第5の男"山下は確信した。果たして1㌔を越える直線での攻防を制してゴール。国内外の主要大会で表彰台には上っても頂点はなかっただけに「高校2年からレースを始め、やっと勝てた。スプリント勝負なら自信があった」。25歳は喜びを爆発させた。

レースは、第1ステージを制した西薗を擁するシマノレーシングの選手たちが集団の動きをコントロール。選手の出入りはあったが、60人ほどが一団でゴールへ向かった。

山下が動きだしたのは残り10㌔付近。アシストとして「エースを勝たせるため、他の選手に脚を使わせる」ためだった。が、後方の集団との差が詰まらない。最後は3人でのデッドヒートを制した。

出身は兵庫県。昨年、出場機会を求めて移籍した。登りが得意だったが、新天地ではトラックレースに出場するなどして、スプリント力も磨いてきた。「練習の成果ですね」と山下。安原監督は「（チームの）5人中5番目。出来ない子が良くやった…」。必死で涙をこらえた。山下も「僕を拾ってくれた監督に恩返しができた」と喜びをかみしめつつ「第3ステージでも、良い走りをしたい」と意気込んだ。（金勝広）

▼北大の富岡、完走誓う　北大の富岡は第2ステージを5時間20分52秒の46位でゴール。「実業団の選手と走れるのは貴重な機会」と充実の表情を見せた。仲間の4人は初日で、タイムオーバーとなっており、この日は、チームとして唯一の参戦。「お互いに顔なじみ」という北海道地域選抜の選手たちと集団内で場所を譲り合うなど協力しながら、駆け抜けた。「疲れはあるけど、生き残れるよう、頑張ります」と、最終の19日まで完走を誓った。

…第2ステージ成績…

▽個人区間順位　①山下貴宏（マトリックス・パワータグ）5時間20分38秒②狩野（ブリヂストンアンカー）5時間20分38秒③山本（鹿屋体大）5時間20分38秒④リケーゼ（イタリア）5時間20分52秒⑤辻（宇都宮ブリッツェン）5時間20分52秒⑥黒枝（鹿屋体大）5時間20分52秒＝順位は着順による

▽団体区間順位　①マトリックス・パワータグ16時間2分22秒②ブリヂストンアンカー16時間2分22秒③鹿屋体大16時間2分32秒④イタリア16時間2分36秒⑤パールイズミ・スミタ・ラバネロ16時間2分36秒⑥シマノレーシング16時間2分36秒⑩北海道地域選抜16時間2分36秒＝上位3人の合計タイム。同タイムは3人の着順合計の少ない方を上位とする

…通算成績…

▽個人総合時間順位　①西薗良太（シマノレーシング）9時間56分30秒②畑中（シマノレーシング）9時間56分34秒③ジャン（韓国）9時間56分39秒④ルビアーノ（イタリア）9時間56分49秒⑤鈴木譲（シマノレーシング）9時間56分51秒⑥カンパニャーロ（イタリア）9時間56分54秒

▽個人総合ポイント順位　①狩野智也（ブリヂストンアンカー）30②畑中（シマノレーシング）28③西薗（シマノレーシング）25④山下（マトリックス・パワータグ）25⑤リケーゼ（イタリア）24⑥ルビアーノ（イタリア）22＝3、4位は個人総合時間順位による

▽個人総合山岳順位　①増田成幸（宇都宮ブリッツェン）17②ルビアーノ（イタリア）15③ジャン（韓国）11④西薗（シマノレーシング）5⑤清水（ブリヂストンアンカー）5⑥鈴木譲（シマノレーシング）4＝4、5位は高ポイントに設定された山岳でのポイント順による

▽団体総合時間順位　①シマノレーシング29時間50分11秒②イタリア29時間51分9秒③ブリヂストンアンカー29時間54分36秒④鹿屋体大29時間57分9秒⑤マトリックス・パワータグ30時間0分4秒⑥マレーシア30時間0分29秒⑬北海道地域選抜30時間35分59秒

●9/18 北海道新聞

スポーツ報知　2011年（平成23年）9月19日（月曜日）

ツール・ド・北海道

### 佐藤ステージV

国内最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」は18日、占冠村～江別市で第3ステージ（171㌔）を行った。佐野淳哉（NIPPO）が3時間56分40秒でステージ優勝。総合時間はジャン・キュング（大韓民国自転車競技連盟チーム）が13時間53分19秒で首位。最終日の19日は、札幌市モエレ沼公園特設コースで第4ステージ（2・75㌔個人タイムトライアル）を行う。

●9/19 スポーツ報知

道新スポーツ　2011年（平成23年）9月19日（月曜日）

ツール・ド・北海道

第3日第3ステージ（18日　占冠村―江別市）

…第3ステージ成績…

▽個人区間順位　①佐野淳哉（イタリア）3時間56分40秒②早川（法大）3時間56分40秒③リケーゼ（イタリア）3時間56分40秒④ジャン（韓国）3時間56分40秒⑤ルビアーノ（イタリア）3時間56分40秒⑥黒枝（鹿屋体大）3時間56分40秒＝順位は着順による

▽団体区間順位　①イタリア11時間50分0秒②マトリックス・パワータグ11時間53分41秒③シマノレーシング12時間0分18秒④ブリヂストンアンカー12時間2分7秒⑤鹿屋体大12時間6分50秒⑥シエルヴォ奈良12時間10分19秒⑬北海道地域選抜12時間38分46秒＝上位3人の合計タイム

…通算成績…

▽個人総合時間順位　①ジャン・キュング（韓国）13時間53分19秒②ルビアーノ（イタリア）13時間53分27秒③カンパニャーロ（イタリア）13時間53分41秒④佐野（イタリア）13時間53分49秒⑤黒枝（鹿屋体大）13時間54分34秒⑥山本（鹿屋体大）13時間55分46秒

▽個人総合ポイント順位　①リケーゼ・マッシミリアーノ（イタリア）40②ルビアーノ（イタリア）37③佐野（イタリア）34④ジャン（韓国）33⑤狩野（ブリヂストンアンカー）30⑥山下（マトリックス・パワータグ）28

▽個人総合山岳順位　①ルビアーノ・チャベス（イタリア）20②増田（宇都宮ブリッツェン）17③ジャン（韓国）11④西薗（シマノレーシング）8⑤鈴木譲（シマノレーシング）6⑥ガロファッロ（マトリックス・パワータグ）5

▽団体総合時間順位　①イタリア41時間41分9秒②シマノレーシング41時間50分29秒③マトリックス・パワータグ41時間53分45秒④ブリヂストンアンカー41時間56分43秒⑤鹿屋体大42時間3分59秒⑥順大42時間19分16秒⑭北海道地域選抜43時間14分45秒

●9/19 道新スポーツ

2011年（平成23年）9月19日（月曜日）　北海道新聞

ツール・ド・北海道

## 佐野が第3S制す

第3日は18日、上川管内占冠村から江別市までの第3ステージ（171㌔）で行われ、佐野淳哉（イタリア）が3時間56分40秒で優勝した。個人総合時間賞では、昨年の個人総合山岳賞ジャン・キュング（韓国）が首位に浮上した。

この日で確定した個人総合山岳賞は、3日間とも得点を積み上げたルビアーノ・チャベス（イタリア）が獲得した。個人総合ポイント賞はリケーゼ・マッシミリアーノ（イタリア）が1位。団体総合時間賞ではイタリアが2位に9分20秒差をつけ首位に立っている。

最終日の19日は、札幌市モエレ沼公園内2・75㌔の特設コースで個人タイムトライアルを行う。

ゴール前スプリントを制し喜ぶ佐野

### 「NIPPO」存在感発揮

イタリア・NIPPOが第3ステージで存在感を強烈にアピール。佐野が優勝し、リケーゼが同タイムの3位に食い込んだ。最終日を前に、個人総合時間賞は2～4位、団体総合時間賞でもトップに立った。

日本の強豪NIPPOを母体とするチームは、日本人選手やスタッフに経験を積ませようと、6年前からイタリアの企業と組んで欧州を転戦。今大会はイタリアのチームとして参加している。

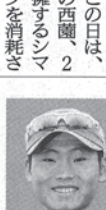
第2ステージを終え、チームは個人総合時間賞で4位が最高と出遅れた。この日は、同賞で1位の西薗、2位の畑中を擁するシマノレーシングを消耗させようと「積極的なレース」（佐野）を展開した。

最後の山岳区間を終え、西薗と畑中を振り切ると、佐野やリケーゼら11人が集団のままゴールへ。集団内でリケーゼら仲間をアシストしようと前めに位置した佐野。ゴール前の最後の直角カーブを曲がり、リケーゼらがわずかに後ろに離れたのに気付くと「他のチームに勝たれるよりは」とスパート。ゴール前スプリントを制した。

これで、リケーゼが個人総合ポイント賞1位に浮上、ルビアーノは個人総合山岳賞が確定。個人と団体の両総合時間賞も視野に入る。大門監督は「みなが良い走りをして、喜びを分かち合えれば」と期待した。

（金勝広）

▼元スケート選手がトップに　第3ステージを3時間56分40秒の4位で駆け抜けたジャン（韓国）＝写真＝が、個人総合時間賞争いでトップに立った。



雨のレースにも、21歳は「高校生までスピードスケートの選手だったので、寒さは問題ない。もっと寒くても良かった」と涼しい顔で語った。

昨年は個人総合山岳賞をつかみ、力を見せた。今年は個人総合へ絶好の位置につけ「短い距離は得意ではないけど、支えてくれるチームのためにも頑張る」と誓った。

…第3ステージ成績…

▽個人区間順位　①佐野淳哉（イタリア）3時間56分40秒②早川（法大）3時間56分40秒③リケーゼ（イタリア）3時間56分40秒④ジャン（韓国）3時間56分40秒⑤ルビアーノ（イタリア）3時間56分40秒⑥黒枝（鹿屋体大）3時間56分40秒＝順位は着順による

▽団体区間順位　①イタリア11時間50分0秒②マトリックス・パワータグ11時間53分41秒③シマノレーシング12時間0分18秒④ブリヂストンアンカー12時間2分7秒⑤鹿屋体大12時間6分50秒⑥シエルヴォ奈良12時間10分19秒⑬北海道地域選抜12時間38分46秒＝上位3人の合計タイム

…通算成績…

▽個人総合時間順位　①ジャン・キュング（韓国）13時間53分19秒②ルビアーノ（イタリア）13時間53分27秒③カンパニャーロ（イタリア）13時間53分41秒④佐野（イタリア）13時間53分49秒⑤黒枝（鹿屋体大）13時間54分34秒⑥山本（鹿屋体大）13時間55分46秒

▽個人総合ポイント順位　①リケーゼ・マッシミリアーノ（イタリア）40②ルビアーノ（イタリア）37③佐野（イタリア）34④ジャン（韓国）33⑤狩野（ブリヂストンアンカー）30⑥山下（マトリックス・パワータグ）28

▽個人総合山岳順位　①ルビアーノ・チャベス（イタリア）20②増田（宇都宮ブリッツェン）17③ジャン（韓国）11④西薗（シマノレーシング）8⑤鈴木譲（シマノレーシング）6⑥ガロファッロ（マトリックス・パワータグ）5

▽団体総合時間順位　①イタリア41時間41分9秒②シマノレーシング41時間50分29秒③マトリックス・パワータグ41時間53分45秒④ブリヂストンアンカー41時間56分43秒⑤鹿屋体大42時間3分59秒⑥順大42時間19分16秒⑭北海道地域選抜43時間14分45秒

●9/19 北海道新聞

# ツール・ド・北海道2011　報道・広報-9

朝日新聞　2011年(平成23年)9月20日　火曜日

## ツール・ド・北海道 市民も走って閉幕

十勝を16日にスタートした国内最大規模の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2011」は19日、札幌市東区のモエレ沼公園での第4ステージを終え、閉幕した。この日は2・75㌔のコースで個人タイムトライアルがあり、20チームの71人が参戦、3分20秒36でトップとなったルビアーノ・ミグエル選手が、個人総合時間でも逆転優勝した。「先に走った仲間から、カーブは滑らないから全開でいけとアドバイスを受けていた。スタートで加速して速度を安定させた」と話した。団体総合では「チームNIPPO」が優勝した。午後からは同じコースを使って市民レースがあり、約400人が参加した＝写真。

●9/20 朝日新聞

2011年(平成23年)9月20日(火曜日)　北海道新聞

# ルビアーノ逆転初V

## 個人総合時間賞「山岳」も獲得 2冠

### 仲間の助言受け快走

### 第4S 2位に3秒77差

ツール・ド・北海道

最終日は19日、札幌市モエレ沼公園特設コースで第4ステージの個人タイムトライアル（2・75㌔を1周）を行い、ルビアーノ・チャベス（イタリア）が、初優勝を果たした。3分20秒36で区間2位。ルビアーノは個人総合時間賞も獲得し、2冠を達成。前日の2位から逆転。個人総合ポイント賞、山岳賞も獲得した。

個人総合時間賞に輝き、表彰式で優勝カップを高々と掲げるルビアーノ（中本翔撮影）

最後の直線。ルビアーノは持てる力を振り絞り、もがくようにゴールに入った。

第3ステージを終え個人総合時間賞でトップのジャージ（緑色）が全選手の最後にゴールし、タイムを告げるアナウンスが流れると、ジャンのゴールを待っていたルビアーノを中心にイタリア・NIPPOのメンバーに歓喜の輪が広がった。26歳は「8秒差を逆転する自信があった」と胸を張った。

出身はコロンビア。個人総合時間賞を狙っていたが、第1、第2ステージで6位、15位と伸び悩んだ。

第3ステージを終え個人総合時間賞でトップのジャージ（緑色）が全選手の最後にゴールし、タイムを告げるアナウンスが流れると、ジャンのゴールを待っていたルビアーノを中心にイタリア・NIPPOのメンバーに歓喜の輪が広がった。26歳は「8秒差を逆転する自信があった」と胸を張った。

第3ステージを終え個人総合時間賞でトップのジャージ（緑色）が全選手の最後にゴールし、タイムを告げるアナウンスが流れると、ジャンのゴールを待っていたルビアーノを中心にイタリア・NIPPOのメンバーに歓喜の輪が広がった。26歳は「8秒差を逆転する自信があった」と胸を張った。（金原広）

個人タイムトライアルで力走するパークハウス

先に走り終えた同僚を過度に意識しすぎた」と悔しがった。

北海道新選抜は20人中17位。「チーム中7チームしか達成できなかった5人全員完走を果たした。

「素晴らしいメンバーと一緒に走れて誇りに思う。来年また戻ってきたい」と雪辱を誓う。

▼パークハウス、意地の23位　昨年の個人総合山岳賞2位だったパークハウス（北海道新選抜）は今年、山岳ポイントを1つも獲得できず、個人総合時間賞も40位に沈んだ。

25日にデンマークで行われる世界選手権に出場する。

●9/20 北海道新聞

スポーツ報知　2011年(平成23年) 9月20日(火曜日)

ツール・ド・北海道

## ルビアーノ4冠

国内最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」は19日、最終日を迎え、札幌市モエレ沼公園特設会場で第4ステージの2・75㌔個人タイムトライアルを行った。チャヴェス・ルビアーノ（イタリア）が3分20秒36でステージ優勝を飾り、個人総合時間でもルビアーノが13時間56分47秒で逆転V。チーム総合、山岳賞と合わせ4冠を獲得した。

●9/20 スポーツ報知

日刊スポーツ　2011年(平成23年)9月20日　火曜日

◇自転車・ツール・ド・北海道最終日（19日、札幌市モエレ沼公園）

▽第4ステージ（個人タイムトライアル2・75㌔）

❶ミゲルアンヘル・ルビアーノ・チャベス（コロンビア、ダンジェロ&アンテヌッチ-NIPPO）3分20秒36❷リケーゼ（アルゼンチン、ダンジェロ&アンテヌッチ-NIPPO）3分24秒13❸佐野（ダンジェロ&アンテヌッチ-NIPPO）3分27秒63

▽個人総合最終成績❶ミゲルアンヘル・ルビアーノ・チャベス（コロンビア、ダンジェロ&アンテヌッチ-NIPPO）13時間56分47秒❷張慶九（韓国）13時間56分50秒❸カンパニャーロ（イタリア、ダンジェロ&アンテヌッチ-NIPPO）13時間57分9秒

▽団体総合最終成績❶ダンジェロ&アンテヌッチ-NIPPO 41時間51分20秒❷シマノレーシング42時間1分1秒❸マトリックスパワータグ42時間4分30秒

●9/20 日刊スポーツ

道新スポーツ　2011年(平成23年)9月20日(火曜日)

ツール・ド・北海道

最終日（19日、札幌市モエレ沼公園特設コース）

▽個人区間順位　①ルビアーノ・チャベス（イタリア）3分20秒36②リケーゼ（イタリア）3分24秒13③…

第4ステージ成績…通算成績…

▽個人総合時間順位　①ルビアーノ・チャベス（イタリア）13時間56分47秒②ジャン（韓国）13時間56分50秒③カンパニャーロ（イタリア）13時間57分9秒④佐野（イタリア）13時間57分16秒⑤黒枝（鹿屋体大）13時間58分14秒⑥山本（鹿屋体大）13時間59分31秒

▽個人総合ポイント順位　①リケーゼ・マッシミリアーノ（イタリア）49②ルビアーノ（イタリア）47③佐野（イタリア）42④ジャン（韓国）35⑤狩野（プリヂストンアンカー）30⑥西尾（シマノレーシング）28

▽個人総合山岳順位　①ルビアーノ・チャベス（イタリア）20②増田（宇都宮ブリッツェン）17③ジャン（韓国）11④西尾（シマノレーシング）8⑤鈴木譲（シマノレーシング）6⑥ガロファッロ（マトリックスパワータグ）5

▽団体総合時間順位　①イタリア41時間51分20秒②シマノレーシング42時間1分1秒③マトリックスパワータグ42時間4分30秒④ブリヂストンアンカー42時間7分24秒⑤鹿屋体大42時間15分7秒⑥順大42時間30分29秒⑦北海道地域選抜43時間25分52秒

●9/20 道新スポーツ

# ツール・ド・北海道2011　報道・広報-10
## ～市町村広報誌等の広報-①～

### ツール・ド・北海道2011

自転車レース、ツール・ド・北海道が9月16日㈮～19日㈷の4日間道内各地で開催。初日の9月16日㈮は開会式と帯広市～標茶町へのロードレースのスタートが行われます。

**日**9月16日㈮、9時～10時
**場**中央公園北側広場（西3南6）
**問**スポーツ振興室（市庁舎8階、☎65・4210）

●広報おびひろ 9月号掲載

●広報 池田 8月号掲載

### TOUR DE HOKKAIDO ツール・ド・北海道2011

9月16日から19日までの4日間、道東から道央にかけて約580kmの距離を自転車で走りぬける国内最大の自転車レース「ツール・ド・北海道2011」。
このレースの第1ステージとなる9月16日、帯広市をスタートした選手団が、ゴールの標茶町に向かう途中に本別町を通過します。
選手たちは皆さんの声援を力に変えてゴールを目指しますので、沿道に出ての応援をお願いします。
なお、コースとなる道路には警察官や整理員が配置され、選手団が通過する際、一部通行止めをお願いします。周辺にお住まいの人など、ご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をお願いします。

**とき　9月16日（金）**
**通過時間　下記地図の通り**




●広報ほんべつ 9月号掲載

### 9月16日は池田町が「ツール・ド・北海道2011」の舞台に！

25回を数える日本最大の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2011」が9月16～19日までの4日間、道東・道央を中心に開催されます。

池田町は第1ステージの通過地点となり、16日（金）9時50分ごろ～10時40分ごろには多数の選手が町内を駆け抜けますので、町民の皆さんの熱い声援をお願いします。なお通過時間帯は下記の区間で通行が規制されます。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

**池田町内のルート・通行規制区間**

十勝川温泉方面から道道帯広浦幌線で池田町へ～利別駅前～プラザ。いちまる池田店横　交差点～役場横　交差点～道道池田停車場高島線で高島市街へ～国道242号の本別町界まで

**問合先**　役場企画財政課企画統計係　☎572-3112

●広報 池田 10月号掲載

### TOUR DE HOKKAIDO ツール・ド・北海道2011

国内では唯一国際自転車競技連合（UCI）公認の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2011」が開催されます。本大会は25回目を迎え、国内外から20チームが参戦して9月16日㈮の第1ステージから4日間、道東・道央圏の25市町村管内で開催され、第1ステージのフィニッシュを多和平展望台で迎えます。なお、交通規制や到着時刻などの詳細は、広報しべちゃ9月号でご案内します。

**【第1ステージのフィニッシュ】**
■**日時**／9月16日㈮、午後2時30分ごろ
■**場所**／多和平展望台駐車場
■**問い合わせ**／役場企画財政課観光振興係
（2階⑯番窓口☎485-2111内線252）

●広報しべちゃ 8月号掲載

### ツール・ド・北海道2011

第1ステージのゴール地点

先月号でもお伝えしました「ツール・ド・北海道2011」は、9月16日㈮に多和平展望台で第1ステージのゴールを迎えます。

ツール・ド・北海道は1987年から開催され、年々海外チームの参加が増えています。1997年の第11回大会からUCI公認大会として承認され、名実ともに我が国最大の自転車ステージレースとなっています。

第1ステージは、帯広市を午前9時30分にスタートし、弟子屈町を経由して、道道1040号線（一般道道弟子屈熊牛原野線）から町道弥栄上徹分内線を通過し、多和平展望台でゴールを迎える予定です。

先頭選手の到着予想時刻は、午後2時18分ごろとなっており、通過予定時刻の前後30分程度は周辺道路を交通規制します。また、自動車を利用して来場される方は、本町の育成牧場事務所前に駐車していただきますので、係員の指示に従ってください。

みなさんのご理解と暖かいご声援をよろしくお願いします。

●広報しべちゃ 9月号掲載

# ツール・ド・北海道2011　報道・広報-11
## ～市町村広報誌等の広報-②～

## ツール・ド・北海道2011 9/16

日本最大の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が９月16日、帯広市をスタートしてゴールの標茶町へ向かう第１ステージの途中で本町を通過しました。約100人の選手らは、たくさんの声援を沿道から受けながら、本町の約36kmのコースを駆け抜けました。

●広報ほんべつ
10月号掲載

### ツール・ド・北海道 9月17日に津別を疾走

「ツール・ド・北海道」は国際自転車競技連合UCL公認の自転車ロードレースで、国内では唯一、大自然の中を町から町へとめぐる本格的なステージレースです。国内外から20チームを招き、9月16日から19日の4日間、道東・道央圏を舞台に開催され、津別町は17日の第2ステージで通過します。

当日は弟子屈町川湯温泉を午前9時30分にスタートし、津別峠を通り、津別市街へ。町民会館、役場、五差路、木材工芸館を経て、本岐市街、陸別町、ゴールの鹿追町まで210kmを疾走します。特に、津別峠と工芸館前はチェックポイントとなり、見ごたえのあるレースが展開されます。

【通過予定時刻】
津別峠午前10時18分、役場前10時57分、木材工芸館前11時00分、本岐市街11時09分、二又11時30分

※当日は交通規制が行われますので、ご協力をお願いします。

問い合わせ先
社会教育課☎76－2713

●広報つべつ 9月号掲載

TOUR DE HOKKAIDO

## 第2ステージ　9月17日（土）

### 午前11時30分頃から午後12時30分頃陸別町内を通過します

今年で25回を数える日本最大の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2011」が9月16日（金）から19日（月）までの4日間、道東・道央を中心に開催されます。

陸別町は17日（土）、第２ステージの通過地点となり、多数の選手が町内を走ります。第２ステージは弟子屈町（屈斜路湖畔）をスタートして津別峠・津別を経由し、道道津別陸別線を南下し、陸別町市街地を通過します。（詳しくは下記のコース図を参照してください）

なお、通過時間帯はコースの該当区間で車両の通行が規制されます。ご不便をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

### 陸別町内コース路線図

### 通過予定時刻

先頭車両入町予定時刻
11:35 頃

① 作集・上陸別方面
11:40 ～ 12:10

② 共和・下陸別
11:45 ～ 12:15

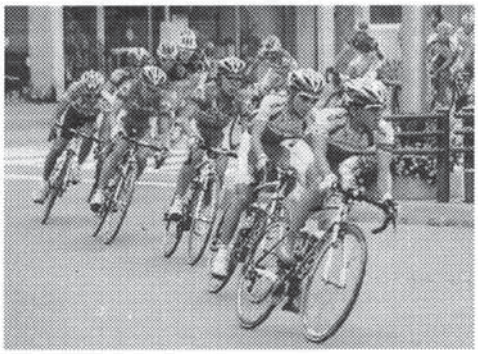
③ 陸別市街地
11:50 ～ 12:20

最後尾車両市街地通過予定時刻
12:20 頃

通過時刻は競技状況により前後することが予想されます

陸別町　陸別町役場総務課企画財政室　電話0156-27-2141

●広報りくべつ 9月号掲載



## ツール・ド・北海道 20チームが町を駆け抜ける

9月17日、日本最大規模の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」の第2ステージが行われ、参加20チームの選手たちが町内を駆け抜けました。

午前9時30分に弟子屈町川湯温泉をスターとした一行は津別峠を経て、役場前、五差路など津別町の市街地を疾走。ゴールの鹿追町に向かって走り抜けました。

沿道の町民たちは、あっという間に目の前を通り過ぎる自転車の速さに驚きながらも、選手が通過するたびに拍手と声援を送っていました。

●広報つべつ 10月号掲載

国内最大の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が、9月16日から4日間開催され、陸別町では、第２ステージの17日に多くの選手が町内を通過しました。

陸別を通過するのは、平成8年以来15年ぶりで、沿道では多くの人が応援しました。

●広報りくべつ 10月号掲載

# ツール・ド・北海道2011　報道・広報-12
## ～市町村広報誌等の広報-③～

### ツール・ド・北海道（自転車競技）の開催

**【市民タイムトライアル】**
平和運動公園内特設コースでの個人タイムトライアルを行います。野球場正面をスタートし、500mを往復、1kmでタイムを競います。
**とき**　9月17日　午前11時55分～午後4時40分
**ところ**　平和運動公園内特設会場

**【市民ロードレース】**
Aコースは、むかわ町穂別地球体験館前からスタートし、109km先の江別市野幌総合運動公園がゴールとなります。
Bコースは、スタートの平和運動公園から江別市野幌総合運動公園をゴールとする66kmのコースが設定されています。
**とき**　9月18日　午前10時45分スタート
**ところ**　平和運動公園

**【駐車場】**
両日とも、会場付近には駐車場は設定されていませんので、お越しの際は公共交通機関等の利用をお願いします。

**【交通規制にご協力を】**
9月18日には、市民ロードレースの車両が、楓から富野間を通過するため、交通規制が行われます。市民の皆さんのご協力をお願いします。
**交通規制予定時間**
①午前10時～11時
②午前11時30分～12時30分
**問合せ先**　市産業課　☎52－3128

●広報ゆうばり
9月号掲載

●広報なんぽろ 9月号掲載

## ツール・ド・北海道2011と市民レースがやってきます！
### ●交通規制にご協力ください！●

(財)ツール・ド・北海道協会、(財)日本自転車競技連盟主催のツール・ド・北海道2011と市民レースが本町を通過します。当日は交通規制が行われますので、ご注意ください。

【日程】　9月18日(日)

【通過予定時間】
市民レース　11時20分～12時10分
ツール・ド・北海道　12時50分～13時35分

【交通規制箇所】　地図のとおり
長栗大橋～東2線～北17号線～長沼スキー場～東3線～道道長沼南幌線～

【その他】
・競技時間中は、混雑が予想されますので、車両の通行は、できるだけご遠慮ください。
・交通規制の行われている道路の部分では、競技の順行方向の車両は、競技車列の後方を追従できますが、車列の追い越しや割り込みはできませんので、注意してください。なお、対向車両については、支障のない限り原則通行できます。
・対向車両が通行できる場合であっても、競技自転車が接近しているときには、減速するなど競技の安全にご協力ください。その際、右折・横断・転回はできませんので、注意してください。また、場合により一時停止をお願いすることがあります。
・状況によって規制時間が変更になることがありますので、現場の係員の指示に従ってください。
・競技自転車は速度40km前後の高速で駆け抜けます。自転車の転倒など思わぬ事故に巻き込まれないよう、格段のご注意をお願いします。

【問合先】
(財)ツール・ド・北海道協会　(☎011-222-5922)
(URL　http://www.tour-de-hokkaido.or.jp)

●広報ながぬま 9月号掲載

## 「ツール・ド・北海道2011」開催

第3ステージ（占冠村～江別市）で、選手が平取町を通過します。沿道での皆さんの盛大な応援をお願いします。

なお、当日は交通規制により、ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

**期日**　9月18日㊐　10:10～10:50（予定）
**コース**　岩知志→振内町（池売）→幌毛志経由で富内へ向かうコース
**問合先**　町民課 生活環境係（☎4-6111）

●広報びらとり
8月号掲載

# ツール・ド・北海道2011　報道・広報-13
## ～市町村広報誌等の広報-④～

**ツール・ド・北海道に伴う交通規制**

9月16日(金)～19日(月)に、自転車競技「ツール・ド・北海道」が開催されます。第3ステージは、占冠村から江別市の野幌総合運動公園までのコースです。途中、北広島市を通過するため、市内でも交通規制が実施されます。

沿道での温かい声援や、交通規制へのご協力をお願いします。

**日程** 9月18日(日)

**時間**

| 通過地点 | 市民レース | | 第3ステージ | |
|---|---|---|---|---|
| | 先頭 | 最終 | 先頭 | 最終 |
| ①道道栗山北広島線 南幌町と北広島市の境界 | 12:02 | 12:21 | 13:29 | 13:47 |
| ②道道栗山北広島線と道道江別恵庭線の交差点 | 12:04 | 12:24 | 13:31 | 13:49 |
| ③道道江別恵庭線 北広島市と江別市の境界 | 12:08 | 12:27 | 13:33 | 13:51 |

**コース**




＊時間は変更する場合があります。現地係員の指示に従ってください。

**問合せ** ツール・ド・北海道協会（☎222～5922）

●広報 北広島 9月号掲載

**ツール・ド・北海道2011**

今年25回目を迎える「ツール・ド・北海道2011」は、9月16日(金)から19日(月)までの4日間、道央地域と道東地域で開催されます。

9月18日(日)の第3ステージは、占冠村をスタートして171kmを走破し、北海道立野幌総合運動公園がフィニッシュ会場となります。また、同日には市民レースも行われ、むかわ町（Aコース）と夕張市（Bコース）をそれぞれスタートし、同じく北海道立野幌総合運動公園がフィニッシュ会場となります。

到着時間帯は、市民レースAコースが12時16分から12時25分ころ、Bコースが12時30分から12時37分ころ、第3ステージ本レースが13時41分から14時00分ころの予定です。

詳細 (財)ツール・ド・北海道協会 ☎222-5922

●広報えべつ 9月号掲載

# その他の広報活動

### ■その他広報

○北海道観光振興機構ホームページ（北海道ぐるり旅）
○北海道新聞折り込みチラシ（北海道通信社おびひろ平原まつり）
○asatan9月号イベント情報　○北海道ウオーク9月号　○サイクルスポーツ8月号
○ラポラ9月号（AIRDO機内誌）　○日本観光振興協会ホームページ（旅そうだん）
○ファンライド9月号（自転車雑誌）　○バイシクル21 9月号（枻出出版社）
○協同組合インフメーションテクノロジー関西ホームページ（イベント・行事情報）

### ■テレビ放映

・HTB（北海道放映）10月3日（月） 9時55分～10時50分
・BS朝日（全国放映）10月10日（月・祝） 16時00分～16時55分
・テレビ朝日CS（全国放映）11月11日（金） 21時00分～21時55分

### ■パナソニック製自転車の贈呈

（パナソニックサイクルテック株式会社 提供）

### ■ツール・ド・北海道 写真展

・開催場所
　札幌市中央区南1条西5丁目
　IKEUCHI 5F 展示会場
・開催月日
　9月2日（金）～9月30日（金）

# ツール・ド・北海道2011　競技関係車輌

●審判長車（COM1）

●副審判長車（COM2）

●審判車（COM3）

●審判車（COM4）

●ドクターカー

●レースディレクター車

●先頭広報車

●本部車1

●決勝審判車

●関門審判車

●規制解除パトカー

●規制予告パトカー

●先導パトカー

●共通機材車1

●共通機材車2

●共通機材車3

●後方広報車（終了周知車）

●チームカー

●共通報道車

●救護車1

●救護車2

●JCF記録車

●選手収容車

●自転車収容車

# ツール・ド・北海道2011　競技看板

●案内看板

●案内看板

●スタート看板

●フィニッシュ看板

●受付案内

●出走登録案内

●検車案内

●告知看板

●告知看板

●ポイント看板

●ポイント看板

●ポイント看板

●交通規制看板

●交通規制看板

●距離表示看板

●距離表示看板

●距離表示看板

●距離表示看板

●右折注意看板

●左折注意看板

●案内看板（車両進入経路）

●距離表示看板

●距離表示看板

●注意看板

# ツール・ド・北海道2011　実行委員会規約

（名　　称）
第1条　この実行委員会は「ツール・ド・北海道2011」実行委員会と称する。(以下「委員会」という。)

（目　　的）
第2条　委員会は、ツール・ド・北海道の企画、運営を円滑に行うことを目的とする。

（事　務　所）
第3条　委員会の事務局は、財団法人ツール・ド・北海道協会内に置く。

（業　　務）
第4条　委員会は、第2条の目的を達成するため、次の業務を行う。
（1）　総務、渉外に関すること。
（2）　広報、報道に関すること。
（3）　イベント、宿泊に関すること。
（4）　医療、衛生に関すること。
（5）　規制、警備に関すること。
（6）　競技運営に関すること。

（委員会の構成）
第5条　委員会は、財団法人ツール・ド・北海道協会理事長より委嘱された委員をもって構成する。

（役　　員）
第6条　委員会に、次の役員を置く。
（1）　実行委員長　　1名
　　実行副委員長　　2名
（2）　委員長及び副委員長は委員の互選によって定める。
（3）　委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。副委員長は委員長を補佐し、委員長の事故あるときはその職務を代行する。

（幹　　事）
第7条　委員会の業務について、専門的な事項を調査検討するため、財団法人ツール・ド・北海道協会理事長は幹事を委嘱することができる。

（競技役員）
第8条　実行委員長は、第4条に関する事項を処理するため、必要に応じ専門委員会を置き、競技役員を指名することができる。

附　則
この規約は、平成23年5月20日から施行する。

# ツール・ド・北海道2011　大会実行委員会名簿 ①

実行委員長　勇崎　恒也　(財)ツール・ド・北海道協会常務理事
YUZAKI Tsuneya

実行副委員長　穴田　勝彦　(財)日本自転車競技連盟参与
ANADA Katsuhiko

実行副委員長　小野　盛秀　北海道自転車競技連盟理事長
ONO Morihide

— 委　員 —

北海道自転車軽自動車商業協同組合
理事長　奥野　誠
OKUNO Makoto

北海道自転車協会
会　長　武田　雅裕
TAKEDA Masahiro

北海道サイクリング協会
会長代行　小川　魁
OGAWA Isao

特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会
代表理事　浜島　泉
HAMAJIMA Izumi

(財)北海道交通安全協会
専務理事　北森　繁
KITAMORI Shigeru

(財)北海道体育協会
専務理事　白髭　俊穂
SHIRAHIGE Toshio

(社)北海道観光振興機構
専務理事　北山　憲武
KITAYAMA Noritake

登別厚生年金病院
院　長　成田　寛志
NARITA Hiroshi

— 幹　事 —

北海道自転車競技連盟
副理事長　鎌田　利道
KAMADA Toshimichi

副理事長　山中　好弘
YAMANAKA Yoshihiro

副理事長　高橋　嘉弘
TAKAHASHI Yoshihiro

理事長　近田　俊夫
CHIKADA Toshio

理事　清野　守
SEINO Mamoru

企画推進部長　新谷　惠司
SHINYA Keiji

— 委　員 —

国土交通省　北海道開発局
建設部長　佐藤　謙二
SATO Kenji

開発監理部次長　川崎　博巳
KAWASAKI Hiromi

— 幹　事 —

開発調整課長　渋谷　元
SHIBUYA Hajime

開発調整課長補佐　巖倉　啓子
IWAKURA Keiko

建設行政課長　伴　政道
BAN Masamichi

河川計画課長　原　俊哉
HARA Toshiya

道路計画課長　後藤　貞二
GOTO Teiji

道路建設課長　柳屋　勝彦
YANAGIYA Katsuhiko

道路維持課長　岳本　秀人
TAKEMOTO Hideto

港湾計画課長　笹島　隆彦
SASAJIMA Takahiko

(札幌開発建設部)　次長(総務担当)　梶本　洋之
KAJIMOTO Hiroyuki

次長(道路・空港・公園担当)　谷村　昌史
TANIMURA Masashi

(旭川開発建設部)　次長(総務担当)　松山　憲夫
MATSUYAMA Norio

次長(河川・道路担当)　柴田　哲史
SHIBATA Tetsushi

(室蘭開発建設部)　次長(総務担当)　坂田　尚樹
SAKATA Naoki

次長(河川・道路担当)　船木　淳悟
FUNAKI Jungo

(釧路開発建設部)　次長(総務担当)　相馬　弘明
SOMA Hiroaki

次長(河川・道路担当)　遠藤友志郎
ENDO Tomoshiro

(帯広開発建設部)　次長(総務担当)　大江　良彦
OE Yoshihiko

次長(河川・道路担当)　榎村　康史
ENOMURA Yasufumi

(網走開発建設部)　次長(総務担当)　伊藤　博
ITO Hiroshi

次長(河川・道路担当)　新目　竜一
SHINME Ryuichi

# ツール・ド・北海道2011　大会実行委員会名簿 ②

| ―委　員― | ―幹　事― |
|---|---|
| 北　海　道 | |
| 環境生活部長　山谷　吉宏<br>YAMAYA Yoshihiro | 道民活動文化振興課長　佐藤　哲夫<br>SATO Tetsuo |
| | 総合政策部知事室広報広聴課長　野村　聡<br>NOMURA Satoshi |
| | 建設部土木局道路課長　清水　文彦<br>SHIMIZU Fumihiko |
| （空知総合振興局） | 副局長　紺谷ゆみ子<br>KONYA Yumiko |
| | 札幌建設管理部地域調整課長　谷山　剛<br>TANIYAMA Tsuyoshi |
| （石狩振興局） | 副局長　辺見　広幸<br>HENMI Hiroyuki |
| （胆振総合振興局） | 副局長　高橋　伸吉<br>TAKAHASHI Nobuyoshi |
| | 室蘭建設管理部地域調整課長　寺崎　峰雄<br>TERASAKI Mineo |
| （日高振興局） | 副局長　小笠原久美子<br>OGASAWARA Kumiko |
| （上川総合振興局） | 副局長　内山　正二<br>UCHIYAMA Shoji |
| | 旭川建設管理部地域調整課長　橋本　好昭<br>HASHIMOTO Yoshiaki |
| （オホーツク総合振興局） | 副局長　中村　進<br>NAKAMURA Susumu |
| | 網走建設管理部地域調整課長　串橋　正毅<br>KUSHIHASHI Masaki |
| （十勝総合振興局） | 副局長　佐藤　和哉<br>SATO Kazuya |
| | 帯広建設管理部地域調整課長　田中　洋海<br>TANAKA Hiromi |
| （釧路総合振興局） | 副局長　三上　愼吾<br>MIKAMI Shingo |
| | 釧路建設管理部地域調整課長　今　雅史<br>KON Masafumi |
| 札幌市スポーツ部長　高橋　順一<br>TAKAHASHI Junichi | 企画事業課長　山越　英明<br>YAMAKOSHI Hideaki |
| 帯広市生涯学習部長　小笹　勅雄<br>KOSASA Norio | スポーツ振興主幹　西尾　仁<br>NISHIO Hitoshi |
| 音更町 副町長　赤間　義章<br>AKAMA Yoshiaki | スポーツ振興課長　福井　明宏<br>FUKUI Akihiro |

| ―委　員― | ―幹　事― |
|---|---|
| 池田町 副町長　佐々木武信<br>SASAKI Takenobu | 企画財政課長　久野　正<br>KUNO Tadashi |
| 本別町 副町長　砂原　勝<br>SUNAHARA Masaru | 社会教育課長　安藤　修一<br>ANDO Shuichi |
| 足寄町 副町長　田中　幸壽<br>TANAKA Yukitoshi | 生涯学習室次長　小松　芳幸<br>KOMATSU Yoshiyuki |
| 釧路市 生涯学習部長　平山　壽一<br>HIRAYAMA Toshikazu | 生涯学習部次長　関根　誠<br>SEKINE Makoto |
| 弟子屈町 副町長　吉備津民夫<br>KIBITSU Tamio | 観光商工課長　松岡　友之<br>MATSUOKA Tomoyuki |
| 標茶町 副町長　森山　豊<br>MORIYAMA Yutaka | 企画財政課長　佐藤　弘幸<br>SATO Hiroyuki |
| 津別町 副町長　佐藤　正敏<br>SATO Masatoshi | 社会教育課主幹　伊藤　同<br>ITO Hitoshi |
| 陸別町 副町長　佐々木敏治<br>SASAKI Toshiharu | 企画財政室主任主査　丹野　景広<br>TANNO Akihiro |
| 上士幌町 副町長　千葉与四郎<br>CHIBA Yoshiro | 教育次長　綿貫　光義<br>WATANUKI Mitsuyoshi |
| 士幌町 副町長　柴田　敏之<br>SHIBATA Toshiyuki | 総務企画課長　後藤　忠義<br>GOTO Tadayoshi |
| 鹿追町 副町長　安部　克裕<br>ABE Katsuhiro | 社会教育課長　大前　健也<br>OMAE Kenya |
| 占冠村 副村長　堤　敏満<br>TSUTSUMI Toshimitsu | 企画商工課長　尾関　昌敏<br>OZEKI Masatoshi |
| 日高町 副町長　工藤　好功<br>KUDO Yoshinori | 地域振興課長　三田村文司<br>MITAMURA Fumiji |
| 平取町 副町長　泉澤　敏裕<br>IZUMISAWA Toshihiro | 町民課長　福澤　東蔵<br>FUKUZAWA Tozo |
| むかわ町 穂別総合支所長　岡田　信一<br>OKADA Shinichi | 穂別総合支所地域振興課長　山岡　康伸<br>YAMAOKA Michinobu |
| 夕張市 理事　高畠　信次<br>TAKABATAKE Nobutsugu | 産業課長　木村　卓也<br>KIMURA Takuya |
| 栗山町 副町長　岩田　美春<br>IWATA Miharu | 教育次長　近藤　光弘<br>KONDO Mitsuhiro |
| 岩見沢市 教育部長　伊東　良幸<br>ITO Yoshiyuki | 文化・スポーツ振興課長　片平　秀樹<br>KATAHIRA Hideki |
| 長沼町 副町長　廣岡　雅浩<br>HIROOKA Masaharu | 総務政策課長　齋藤　良彦<br>SAITO Yoshihiko |
| 南幌町 副町長　小林　勇一<br>KOBAYASHI Yuichi | まちづくり課長　寺田　孝広<br>TERADA Takahiro |
| 北広島市 教育部長　八町　史郎<br>YAMACHI Fumio | 社会教育課長　浜田　薫<br>HAMADA Kaoru |
| 江別市 教育部長　佐藤　哲司<br>SATO Tetsuji | 生涯学習課長　小林　則幸<br>KOBAYASHI Noriyuki |

# ツール・ド・北海道2011　実施要領

1 開催趣旨
「ツール・ド・北海道」は、サイクルスポーツを核とした広範な活動を展開する事により、我が国、特に北海道における観光資源および産業の開発、文化の振興、生活の向上等に貢献するとともに、このイベントを契機に、国民が自転車による健康と体力の増進、また、自然愛好を背景とした地域コミュニケーションに一層の関心を深め、我が国におけるサイクルスポーツの普及・啓発に貢献することを期するものである。
なお、この競技会に対する国民の関心も回を重ねるごとに深まりつつあることから、平成23年度においても、国際自転車競技連合（UCI）公認の国際大会として、外国チームを招請して実施する。

2 大会名称
ツール・ド・北海道2011

3 主　催
（財）ツール・ド・北海道協会
（財）日本自転車競技連盟

4 後　援
国土交通省、文部科学省、経済産業省、北海道、北海道市長会、北海道町村会、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、NHK札幌放送局、北海道テレビ放送、（財）JKA、（財）日本自転車普及協会、（社）自転車協会、北海道経済連合会、（社）北海道商工会議所連合会、（社）北海道観光振興機構、（社）北海道建設業協会、（社）北海道舗装事業協会、（社）日本道路建設業協会北海道支部、北海道アスファルト合材協会、（社）北海道バス協会、（社）北海道トラック協会

5 特別協力
北海道新聞社

6 協　力
北海道開発局、北海道経済産業局、帯広市、音更町、池田町、本別町、足寄町、釧路市、弟子屈町、標茶町、津別町、陸別町、上士幌町、士幌町、鹿追町、占冠村、日高町、平取町、むかわ町、夕張市、栗山町、岩見沢市、長沼町、南幌町、北広島市、江別市、札幌市、（財）北海道体育協会、（財）北海道交通安全協会、北海道自転車競技連盟、北海道自転車軽自動車商業協同組合、北海道自転車協会、北海道サイクリング協会、北海道歩くスキー協会

7 開催期間
平成23年9月16日（金曜日）～9月19日（月曜日・祝日）　4日間

| 日　　程 | ス テ ー ジ | 経 路 ・ 会 場 | 距離（km） |
|---|---|---|---|
| 9月16日（金） | 第1ステージ（ロードレース） | 帯広市～標茶町 | 198 |
| 9月17日（土） | 第2ステージ（ロードレース） | 弟子屈町～鹿追町 | 210 |
| 9月18日（日） | 第3ステージ（ロードレース） | 占冠村～江別市 | 171 |
| 9月19日（月・祝） | 第4ステージ（タイムトライアル） | 札幌市 | 2.75 |
| | | 総　距　離 | 約580 |

8 競技実施要領
（1）競技運営
競技会の準備運営は、「ツール・ド・北海道2011実行委員会」があたり、競技会の実施については、別途委嘱する競技役員があたるものとする。

（2）参加資格
国際自転車競技連合（UCI）登録選手

（3）参加方法
登録選手5名、監督その他3名で1チームを構成する

（4）チーム数
20チーム（国内大学、社会人、地域選抜チーム及び外国5チーム）

（5）競技規則
ア.ステージレースとして、UCI競技規則及び大会特別規則による。
イ.団体順位は、各チーム上位3選手の所要時間の合計により決する。
ウ.各ステージで、移動関門を設けて先頭から一定時間以上遅れた選手は収容する。
エ.違反行為があった場合は、その程度に応じてペナルティタイムを加算する。

（6）アンチドーピング検査
UCI規則に従い選手に対してアンチドーピング検査を実施する。

（7）表彰
ア.個人総合、個人ポイント、個人山岳、U23、団体総合の各賞を授与する。
イ.個人総合優勝者には、北海道カップを授与する。

# ツール・ド・北海道2011　「市民レース」実施要領

1 開催趣旨
「ツール・ド・北海道」は、サイクルスポーツを核とした広範な活動を展開する事により、我が国、特に北海道における観光資源および産業の開発、文化の振興、生活の向上等に貢献するとともに、このイベントを契機に、国民が自転車による健康と体力の増進、また、自然愛好を背景とした地域コミュニケーションに一層の関心を深め、サイクルスポーツの普及・啓発に貢献することを期するために行う。

2 大会名称
ツール・ド・北海道2011「市民レース」

3 主　催
(財)ツール・ド・北海道協会
(財)日本自転車競技連盟
北海道自転車競技連盟

4 後　援
国土交通省、文部科学省、経済産業省、北海道、北海道市長会、北海道町村会、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、NHK札幌放送局、北海道テレビ放送、(財)JKA、(財)日本自転車普及協会、(社)自転車協会、北海道経済連合会、(社)北海道商工会議所連合会、(社)北海道観光振興機構、(社)北海道建設業協会、(社)北海道舗装事業協会、(社)日本道路建設業協会北海道支部、北海道アスファルト合材協会、(社)北海道バス協会、(社)北海道トラック協会

5 特別協力
北海道新聞社

6 協　力
北海道開発局、北海道経済産業局、むかわ町、夕張市、栗山町、岩見沢市、長沼町、南幌町、北広島市、江別市、札幌市、(財)北海道体育協会、(財)北海道交通安全協会、北海道自転車競技連盟、北海道自転車軽自動車商業協同組合、北海道自転車協会、北海道サイクリング協会、北海道歩くスキー協会

7 競技日程

| 日　　程 | ス テ ー ジ | 経 路・会 場 | 距離(km) |
|---|---|---|---|
| 9月17日(土) | 市民タイムトライアル | 夕張市 | 1.0 |
| 9月18日(日) | 市民ロードレース Aコース | むかわ町～江別市 | 109 |
| | 市民ロードレース Bコース | 夕張市～江別市 | 66 |
| 9月19日(月・祝) | 市民クリテリウム | 札幌市 | 1.5～36 |

8 競技実施要領
(1)参加資格
ア.タイムトライアル、クリテリウムは小学生以上の男女、ロードレースは中学生以上の男女
イ.参加者は、自己の体力、脚力に自信があり、自己の責任でレースを行える者で、未成年者については保護者の同意が必要です。
ウ.ロードレースは、指定時間内に指定場所に到着しない選手及びクリテリウムでの周回遅れの選手は失格となります。

(2)募集予定人員
○市民タイムトライアル　300名
○市民ロードレース（A・Bコース）　500名
○市民クリテリウム　300名
＊定員になり次第締切りの予定

(3)クラス別
性別、年齢、経験、能力別にて分けます。

(4)参加料

| 区　　分 | 一　　般 | 高　校　生 | 中　学　生 | 小　学　生 |
|---|---|---|---|---|
| 市民タイムトライアル | 3,500円 | 2,000円 | | 1,000円 |
| 市民ロードレース(A・Bコース) | 8,500円 | 7,000円 | | ー |
| 市民クリテリム | 5,500円 | 4,000円 | 2,000円 | 1,000円 |
| 市民クリテリウムは幼児用の無料コースを設けます。また、上記大会3日間、全ての競技に参加する場合、参加料は中・高校生は10,000円、一般は15,000円となります。 | | | | |

(5)表彰等
○各種目とも上位入賞者にトロフィー、賞状及び賞品を授与する。
○各競技に出場した選手には、記録証を発行する。

# ツール・ド・北海道2011
*TOUR DE HOKKAIDO 2011*

## ■主催／Organizers

財団法人ツール・ド・北海道協会　　財団法人日本自転車競技連盟
Tour de Hokkaido Association　　Japan Cycling Federation

## ■後援／Supporters

国土交通省、文部科学省、経済産業省、北海道、財団法人JKA、北海道市長会、北海道町村会、公益財団法人日本体育協会、
公益財団法人日本オリンピック委員会、NHK札幌放送局、HTB北海道テレビ、財団法人日本自転車普及協会、社団法人自転車協会、北海道経済連合会、
社団法人北海道商工会議所連合会、社団法人北海道観光振興機構、社団法人北海道建設業協会、社団法人北海道舗装事業協会、
社団法人日本道路建設業協会北海道支部、北海道アスファルト合材協会、社団法人北海道バス協会、社団法人北海道トラック協会

Ministry of Land, Infrastructure and Transport. Ministry of Education, Culture, Sports and Technology. Ministry of Economy, Trade and Industry.
Hokkaido Government. JKA. Hokkaido Associaton of City Mayors. Hokkaido association of towns and Villages. Japan Sports Association.
Japan Olympic Committee. Sapporo Station of Broadcasting Corporation (NHK). Hokkaido Television Broadcasting. Bicycling Popularization Association of Japan.
Cycling Association. Hokkaido Economic Federation. Federation of Hokkaido Chamber of Commerce and Industry. Hokkaido Tourism Organization.
Associated General Constructors of Hokkaido Inc.,  Hokkaido Pavement Association. Japan Road Contractors Association Hokkaido branch.
Hokkaido Asphalt Mixture Association. Hokkaido Bus Association. Hokkaido Truck Association

## ■特別協力／Special Cooperating Organizations

北海道新聞社
The Hokkaido Shimbun Press

## ■協力／Cooperators

北海道開発局、北海道経済産業局、札幌市、帯広市、音更町、池田町、本別町、足寄町、釧路市、弟子屈町、標茶町、津別町、陸別町、上士幌町、士幌町、
鹿追町、占冠村、日高町、平取町、むかわ町、夕張市、栗山町、岩見沢市、長沼町、南幌町、北広島市、江別市
財団法人北海道体育協会、財団法人北海道交通安全協会、北海道自転車競技連盟、北海道自転車軽自動車商業協同組合、北海道自転車協会、
北海道サイクリング協会、北海道歩くスキー協会

Hokkaido Regional Development Bureau. Hokkaido Bureau of Economy, Trade and Industry. Sapporo. Obihiro. Otofuke. Ikeda. Honbetsu. Ashoro. Kushiro.
Teshikaga. Shibecha. Tsubetsu. Rikubetsu. Kamishihoro. Shihoro. Shikaoi. Shimukappu. Hidaka. Biratori. Mukawa. Yubari. Kuriyama. Iwamizawa. Naganuma.
Nanporo. Kitahiroshima. Ebetsu.
Hokkaido Amateur Sports Association. Hokkaido Traffic Safety Association. Hokkaido Cycling Federation. Hokkaido Commercial Cooperative of Bicycles and Light Cars.
Hokkaido Bicycle Association. Hokkaido Cycling Association. Hokkaido Cross Country Skiing Association

## ■特別協賛／Special Sponsors

株式会社NIPPO
ホクレン農業協同組合連合会
富士重工業株式会社
NIPPO Corporation
HOKUREN Federation of Agricultural Cooperative Association
Fuji Heavy Industries Ltd.

## ■協賛各社／Sponsors

ブリヂストンサイクル株式会社、株式会社マトリックス、株式会社シマノ、アメアスポーツジャパン株式会社、パナソニックサイクルテック株式会社、
株式会社パールイズミ、株式会社阿部商会、株式会社JTB北海道、株式会社損害保険ジャパン、サッポロビール株式会社、株式会社ローソン、
株式会社丸ヨ池内、ニッポンレンタカー、株式会社コロンビアスポーツウェアジャパン、マルスイ冷蔵株式会社

株式会社玉川組、株式会社富士建設コンサル、株式会社タナカコンサルタント、宮脇大木建設株式会社、宮永建設株式会社、株式会社開発工営社、
株式会社田宮設計事務所

Bridgestone Cycle Co., Ltd. MATRIX INC. Shimano, Inc. Amer Sports Japan, Inc. Panasonic Cycle Technology Co., Ltd. Pearl Izumi, Inc. ABE SHOKAI LTD.
JTB Hokkaido Corp. Sompo Japan Insurance Inc. SAPPORO BREWERIES LIMITED LAWSON, Inc. MARUYO IKEUCHI CO.
Nippon Rent-A-Car Hokkaido Service,Inc. Colombia Sportswear Japan, Inc. Marusui Reizo. co.,ltd
Tamagawagumi CORPORATION. Fuji Construction Consultants Co., Ltd. Tanaka Consultant Co., Ltd. Miyawaki Oki Construction, Co., Ltd.
Miyanaga Construction, Co. Kaihatsu Koei Co., Ltd. Tamiya Architectural Design Office.

# ツール・ド・北海道2011 大会役員名簿

*Officials of Tour de Hokkaido 2011*

## ● 総裁

綿 貫 民 輔　(財)ツール・ド・北海道協会会長

## ● President

WATANUKI Tamisuke
President of Tour de Hokkaido Association

## ● 副総裁

高 橋 はるみ　北海道知事[協会顧問]

上 田 文 雄　札幌市長[協会顧問]

西 原 巧　(財)ツール・ド・北海道協会顧問

眞 田 眞　(財)ツール・ド・北海道協会顧問

## ● Vice Presidents

TAKAHASHI Harumi
Governor of Hokkaido (Advisor to the Association)

UEDA Fumio
Mayor of Sapporo (Advisor to the Association)

NISHIHARA Takumi
Advisor to Tour de Hokkaido Association

SANADA Makoto
Advisor to Tour de Hokkaido Association

## ● 大会長

山 本 隆 幸　(財)ツール・ド・北海道協会理事長

## ● Chairman of Tour de Hokkaido

YAMAMOTO Takayuki
Head Director of Tour de Hokkaido Association

## ● 副大会長

富 原 忠 夫　(財)日本自転車競技連盟会長

石 黒 克 巳　(財)JKA会長

近 藤 龍 夫　(財)ツール・ド・北海道協会副理事長
[北海道経済連合会会長]

伊 藤 義 郎　(財)ツール・ド・北海道協会副理事長
[(社)北海道建設業協会名誉会長]

鈴 木 弘 泰　(財)ツール・ド・北海道協会副理事長
[元学校法人浅井学園理事長]

阿 部 毅一郎　(財)ツール・ド・北海道協会理事
[元(財)日本自転車普及協会会長]

## ● Vice Chairmen of Tour de Hokkaido

TOMIHARA Tadao
President of Japan Cycling Federation

ISHIGURO Katsumi
President of JKA

KONDO Tatsuo
Deputy Director of Tour de Hokkaido Association
(President of Hokkaido Economic Federation)

ITO Yoshiro
Deputy Director of Tour de Hokkaido Association
(Honorary President of Associated General Constructors of Hokkaido Inc.,)

SUZUKI Hiroyasu
Deputy Director of Tour de Hokkaido Association
(Former Head Director of Asai Gakuen)

ABE Kiichiro
Director of Tour de Hokkaido Association
(Former President of Bicycling Popularization Association of Japan)

## ● 大会顧問

橋 本 聖 子　参議院議員

張 富士夫　公益財団法人日本体育協会会長

河 本 英 典　(財)ツール・ド・北海道協会理事
[綾羽株式会社取締役社長]

高 松 泰　国土交通省北海道開発局長

和 田 修 一　経済産業省北海道経済産業局長

## ● Counselors for Tour de Hokkaido

HASHIMOTO Seiko
Member of the House of Counsilors

CHO Fujio
President of Japan Sports Association

KAWAMOTO Eisuke
Director of Tour de Hokkaido Association
(Ayaha Co., Ltd.)

TAKAMATSU Yasushi
Director General, Hokkaido Regional Development Bureau

WADA Shuichi
Director General, Hokkaido Bureau of Economy, Trade and Industry

## ■大会参与（五十音順）

我孫子 健一 ABIKO Kenichi　元社団法人北海道観光連盟会長
安久津 勝彦 AKUTSU Katsuhiko　足寄町長
荒木 啓文 ARAKI Hirofumi　社団法人北海道商工会議所連合会専務理事
池田 明聰 IKEDA Akiyoshi　池田明聰公認会計士事務所公認会計士
池田 裕二 IKEDA Yuji　標茶町長
泉山 利彦 IZUMIYAMA Toshihiko　サッポロビール株式会社北海道本社代表
板倉 純 ITAKURA Jun　国土交通省北海道開発局網走開発建設部長
上野 正三 UENO Masami　北広島市長
蝦名 大也 EBINA Hiroya　釧路市長
大内 幸則 OUCHI Yukinori　国土交通省北海道開発局帯広開発建設部長
大島 研一 OSHIMA Kenichi　財団法人日本自転車競技連盟副会長
小川 魁 OGAWA Isao　北海道サイクリング協会会長代行
勝井 勝丸 KATSUI Katsumaru　池田町長
金澤 紘一 KANAZAWA Koichi　陸別町長
鎌田 公浩 KAMADA Kimihiro　北海道自転車競技連盟会長
鎌田 照章 KAMADA Teruaki　国土交通省北海道開発局旭川開発建設部長
川上 満 KAWAKAMI Mitsuru　平取町長
小林 康雄 KOBAYASHI Yasuo　士幌町長
小林 好宏 KOBAYASHI Yoshihiro　北海道大学名誉教授
斉藤 智徳 SAITO Tomonori　北武事業協同組合顧問
笹部 俊雄 SASABE Toshio　財団法人JKA理事
佐藤 多一 SATO Taichi　津別町長
渋谷 良二 SHIBUYA Ryoji　財団法人日本自転車普及協会常務理事
島野 喜三 SHIMANO Yoshizo　社団法人自転車協会名誉理事長
杉本 守巧 SUGIMOTO Moriisa　社団法人北海道トラック協会会長
鈴木 直道 SUZUKI Naomichi　夕張市長
諏訪 頼久 SUWA Yorihisa　日本無線株式会社代表取締役社長
清﨑 晶雄 SEIZAKI Akio　株式会社開発工営社相談役
田岡 克介 TAOKA Katsusuke　北海道市長会会長
高橋 総一 TAKAHASHI Soichi　国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部長
髙橋 正夫 TAKAHASHI Masao　本別町長
竹中 貢 TAKENAKA Mitsugi　上士幌町長
土屋 一彦 TSUCHIYA Kazuhiko　財団法人日本自転車普及協会常務理事
椿原 紀昭 TSUBAKIHARA Noriaki　栗山町長
寺島 光一郎 TERASHIMA Koichiro　北海道町村会会長
寺山 憲二 TERAYAMA Kenji　音更町長
戸川 雅光 TOGAWA Masamitsu　長沼町長
徳永 哲雄 TOKUNAGA Tetsuo　弟子屈町長
長澤 茂嗣 NAGASAWA Shigetsugu　財団法人札幌市体育協会常務理事
中村 博 NAKAMURA Hiroshi　占冠村長
中山 健三 NAKAYAMA Kenzo　社団法人北海道舗装事業協会会長
新山 惇 NIIYAMA Makoto　北海道建設業信用保証株式会社取締役社長
林田 紀久男 HAYASHIDA Kikuo　株式会社NIPPO代表取締役会長
平柳 豊 HIRAYANAGI Yutaka　財団法人JKA専務理事
藤田 克己 FUJITA Katsumi　日本航空札幌支店北海道地区支配人（兼）札幌支店長
本田 幸一 HONDA Koichi　国土交通省北海道開発局釧路開発建設部長
三好 昇 MIYOSHI Noboru　江別市長
三好 富士夫 MIYOSHI Fujio　南幌町長
三輪 茂 MIWA Shigeru　日高町長
村田 正敏 MURATA Masatoshi　株式会社北海道新聞社代表取締役社長
柳川 捷夫 YANAGAWA Katsuo　株式会社ドーコン相談役
柳屋 圭吾 YANAGIYA Keigo　国土交通省北海道開発局札幌開発建設部長
山口 憲造 YAMAGUCHI Kenzo　むかわ町長
吉田 弘志 YOSHIDA Hiroshi　鹿追町長
米沢 則寿 YONEZAWA Norihisa　帯広市長
渡辺 孝一 WATANABE Koichi　岩見沢市長
渡辺 俊隆 WATANABE Toshitaka　全日本空輸株式会社執行役員札幌支店長

# ツール・ド・北海道2011 大会競技役員名簿

*Officials of Tour de Hokkaido 2011*

**■大会実行委員長** Chairman of the Executive Committee
(Deputy Managing Director of Tour de Hokkaido Association)
勇崎　恒也
YUZAKI Tsuneya

**■大会実行副委員長** Vice Chairman of the Executive Committee
穴田　勝彦・小野　盛秀
ANADA Katsuhiko・ONO Morihide

**■総務委員長・大会ディレクター** Event Director
山本　隆幸
YAMAMOTO Takayuki

**■総務副委員長** Vice General Manager
鈴木　秀之
SUZUKI Hideyuki

**■総務委員** General Affairs
小塚　耕平・遊佐　義彦・渡邊　勲・大脇　恒夫・堀江　洋一郎
KOZUKA Kohei・YUSA Yoshihiko・WATANABE Isao・OWAKI Tsuneo・HORIE Yoichiro
土屋 朋子・恒松　浩・小林　かおり・児玉　万里
TSUCHIYA Tomoko・TSUNEMATSU Hiroshi・KOBAYASHI Kaori・KODAMA Mari

**（協会事務局）** Secretariat of the Association
牛島　元嗣・渡辺　定尚・中山　忠雄・木田　光良
USHIJIMA Mototsugu・WATANABE Sadanao・NAKAYAMA Tadao・KIDA Mitsuyoshi

**（渉外担当）** Liaison
遊佐　義彦・小林　かおり・児玉　万里
YUSA Yoshihiko・KOBAYASHI Kaori・KODAMA Mari

**（式典・賞典担当）** Ceremony・Prize
一関　祐次
ICHINOSEKI Yuji

**（市民レース担当）** Citizen Race
堀江　洋一郎・大山　皓章・板谷　治・五十嵐　誠・佐藤　奎嗣
HORIE Yoichiro・OYAMA Tsuguaki・ITAYA Osamu・IGARASHI Makoto・SATO Keiji

**（チーム担当）** Team
五十嵐　毅彦・山内　征勝・土屋　朋子
IGARASHI Takehiko・YAMAUCHI Masakatsu・TSUCHIYA Tomoko

**（通訳）** Interpreters
バーネット デイヴィット
BARNETT David

**（警備・コース担当）** Security
渡邊　勲・安倍　明政・尾上　正典・林　満・今福　守
WATANABE Isao・ABE Akimasa・ONOUE Masanori・HAYASHI Mitsuru・IMAFUKU Mamoru
長谷　国男・夏伐　耕一・古田　文史
HASE Kunio・NATSUGIRI Koichi・FURUTA Fumishi

**（会場・車両担当）** Vehicles・Venues
澤田　順一・田村　良樹・荒野　廣・百瀬　堅・武田　正好
SAWADA Junichi・TAMURA Yoshiki・ARANO Hiroshi・MOMOSE Katashi・TAKEDA Masayoshi

**（交通対策担当）** Traffic Affairs
嶋田　隆・柏木　康男
SHIMADA Takashi・KASHIWAGI Yasuo

**（オートバイエスコート）** Motorcycle Escort
高道　宏司・田中　隆
TAKAMICHI Hiroshi・TANAKA Takashi

**■広報委員長** PR Manager
和田　真宏
WADA Masahiro

**■広報副委員長** Vice PR Manager
遊佐　義彦
YUSA Yoshihiko

**（広報担当）** PR・Communique
加賀　雅実・山内　康史・芦田　千里・長谷川　哲
KAGA Masami・YAMAUCHI Yasushi・ASHIDA Chisato・HASEGAWA Tetsu

**（集計・コミュニケ担当）** Result and Communiques
大脇　恒夫・堀江　洋一郎・島村　千樹・尾西　基樹
OWAKI Tsuneo・HORIE Yoichiro・SHIMAMURA Senji・ONISHI Motoki
堅尾　大司・田中　勇次・灘　幸宏
KATAO Daiji・TANAKA Yuji・NADA Yukihiro

**■審判長** President of Commissaires Panel
邱　基金
QIU Jijin

**■競技ディレクター** Race Director
中村　雅章
NAKAMURA Masaaki

**■コミセールパネル** Commissaires Panel
中村　雅章・小野　盛秀・森尻　展充・菊池　津根徳
NAKAMURA Masaaki・ONO Morihide・MORIJIRI Hiromichi・KIKUCHI Tsunenori

**■審判員** Commissaires
中村　雅章・大脇　恒夫・森尻　展充・大島　環・小島　裕樹
NAKAMURA Masaaki・OWAKI Tsuneo・MORIJIRI Hiromichi・OSHIMA Kan・KOJIMA Hiroki
菊池　津根徳・榎　正人・吉清水　一之・櫻澤　幸雄・中野崎　敏幸
KIKUCHI Tunenori・ENOKI Masato・YOSHIMIZU Kazuyuki・SAKURAZAWA Yukio・NAKANOZAKI Toshiyuki
猿舘　貢・佐々木　弘一・佐々木　博・熊澤　準治・荒井　和弘
SARUDATE Mitsugu・SASAKI Koichi・SASAKI Hiroshi・KUMAZAWA Junji・ARAI Kazuhiro
佐藤　有子・岡田　将太・綿貫　光子・蓼沼　和成・森本　聡
SATO Yuko・OKADA Shota・WATANUKI Mitsuko・TADENUMA Kazunari・MORIMOTO Satoshi
倉田　達樹・藤原　盛一・渡辺　知明・西川　一郎・假谷　豊
KURATA Tatsuki・FUJIWARA Seiichi・WATANABE Tomoaki・NISHIKAWA Ichiro・KARIYA Yutaka
若生　宏・十時　正一郎・前川　佳生・愛場　政広・田中　比呂喜
WAKO Hiroshi・TOTOKI Shojiro・MAEKAWA Yoshio・AIBA Masahiro・TANAKA Hiroki
田中　均・程原　邦夫・富和　清訓・佐藤　明弘
TANAKA Hitoshi・HODOHARA Kunio・TOMIWA Kiyonori・SATO Akihiro
中村　恭治・向井　資晴・狩野　良太・小野　盛秀・勝見　洋一
NAKAMURA Kyoji・MUKAI Yoshiharu・KANO Ryota・ONO Morihide・KATSUMI Yoichi
長谷部　信一・近岡　紀子・寺田　稔・鎌田　道也・千葉　鶴也
HASEBE Shinichi・CHIKAOKA Noriko・TERADA Minoru・KAMADA Michiya・CHIBA Tsuruya
播磨　和宏・石橋　旭・石垣　秀人・中井　豊・松井　一成
HARIMA Kazuhiro・ISHIBASHI Akira・ISHIGAKI Hideto・NAKAI Yutaka・MATSUI Kazunari
延澤　一紀・酒井　和彦・平岡　雅史・坂　知明・柏原　順子
NOBESAWA Kazunari・SAKAI Kazuhiko・HIRAOKA Masashi・SAKA Tomoaki・KASHIWABARA Junko
多田　憲弘・森合　直樹・溝口　征二・和田　真宏・本間　豊明
TADA Norihiro・MORIAI Naoki・MIZOGUCHI Seiji・WADA Masahiro・HONMA Toyoaki
高宮　誠治・中野　良宣・佐藤　泉・室井　文男・菊地　ひずる
TAKAMIYA Seiji・NAKANO Yoshinobu・SATO Izumi・MUROI Fumio・KIKUCHI Hizuru
鶴田　数義・福島　剛・山口　博史・上野　幸二
TSURUTA Kazuyoshi・FUKUSHIMA Tsuyoshi・YAMAGUCHI Hiroshi・UENO Koji
奥野　武・長谷　孝一・大場　博史・大山　皓章・金澤　昭二
OKUNO Takeshi・HASE Koichi・OBA Hiroshi・OYAMA Tsuguaki・KANAZAWA Shoji
外崎　修・三浦　一朗・岡部　克・岡部　美知子・増田　真幸
SOTOZAKI Osamu・MIURA Ichiro・OKABE Masaru・OKABE Michiko・MASUDA Masayuki
佐々木　功・池田　恭子・池田　正二郎・嶋木　勉・大貫　勝豊
SASAKI Ko・IKEDA Kyoko・IKEDA Shojiro・SHIMAKI Tsutomu・ONUKI Katsutoyo
古舘　一也・志賀　あんり・近藤　良一・寺井　英治
FURUDATE Kazuya・SHIGA Anri・KONDO Ryoichi・TERAI Eiji
笠原　弘則・松田　茂・佐々木　伸次・蓮沼　英司・吉田　通美
KASAHARA Hironori・MATSUDA Shigeru・SASAKI Shinji・HASUNUMA Eiji・YOSHIDA Michiyoshi

**■リードドーピングコントロールオフィサー** Lead Doping Control Officer
坂本　陽一
SAKAMOTO Yoichi

**■ドーピング コントロール オフィサー** Doping Control Officers
笠師　久美子・鈴木　靖
KASASHI Kumiko・SUZUKI Yasushi

**（アンチドーピングシャペロン）** Anti-doping Chapelon
鳴海　克哉・田中　伸明・桑山　果織
NARUMI Katsuya・TANAKA Nobuaki・KUWAYAMA Kaori

**（アンチドーピング担当）**
竹山　利男・山田　幸雄
TAKEYAMA Toshio・YAMADA Yukio

**■医務総括医師** Commission Doctor
成田　寛志
NARITA Hiroshi

**（医務担当医師）** Doctors
山田　隆宏・青木　昌弘・本間　俊一
YAMADA Takahiro・AOKI Masahiro・HONMA Shunichi

**（医務・医療担当）** Medical staff
松田　悦子・秋保　頼子・佐藤　美歩・石川　敬子・今井　史枝
MATSUDA Etsuko・AKIHO Yoriko・SATO Miho・ISHIKAWA Keiko・IMAI Fumie
松田　祐香・真田　英夫・逢坂　秀俊・杉山　政芳・渡辺　益幸
MATSUDA Yuka・SANADA Hideo・OSAKA Hidetoshi・SUGIYAMA Masayoshi・WATANABE Masuyuki

**■メカニック担当** Mechanic
坂東　晃・高橋　義彦・清水　裕輔・竹村　孝行・押鴨　和範
BANDO Akira・TAKAHASHI Yoshihiko・SHIMIZU Yusuke・TAKEMURA Takayuki・OSHIGAMO Kazunori
三瀧　光誠
MITAKI Mitsunari

**■補給地点担当** Feed Zone
澤田　賢吉・松居　勝徳
SAWADA Kenkichi・MATSUI Katsunori

**■選手収容担当** Sag Wagon
五十嵐　毅彦・山内　征勝
IGARASHI Takehiko・YAMAUCHI Masakatsu

# 2011 エントリーチーム



## ■ジャイアント ケンダ サイクリングチーム（チャイニーズ・タイペイ・GKT）
GIANT KENDA CYCLING TEAM（CHINESE TAIPEI）

●監督／MANAGER
リン ウェンチン LIN WEN CHIN
●メカニック／MECHANIC
チェン チュンファン CHEN Chun Fang
●マッサージャー／MASSAGER
チェン ペイファン CHEN Pei Fangang

●選手／RIDER
ペン クェイシァン　PENG Kuei Hsiang
ハン シーチャン　HUAN Shih Chang
チュ ファンシン　CHU Fan Hsin
チャン シャオユン　CHIANG Shao Yung
ワン インチー　WANG Yin Chih

## ■宇都宮ブリッツェン（BLZ）
UTSUNOMIYA BLITZEN

●監督／MANAGER
栗村 修 KURIMURA Osamu
●メカニック／MECHANIC
針谷 隆之 HARIGAI Takayuki
●マッサージャー／MASSAGER
高橋 英明 TAKAHASHI Hideaki

●選手／RIDER
柿沼 章　KAKINUMA Akira
中村 誠　NAKAMURA Makoto
増田 成幸　MASUDA Nariyuki
辻 善光　TSUJI Yoshimitsu
初山 翔　HATSUYAMA Sho

●補欠／REPLACEMENT…廣瀬 佳正 HIROSE Yoshimasa　若杉 厚仁 WAKASUGI Atsuhito

## ■ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO（イタリア・DAN）
D'ANGELO & ANTENUCCI - NIPPO（ITALY）

●監督／MANAGER
大門 宏 DAIMON Hiroshi
●メカニック／MECHANIC
西 勉 NISHI Tsutomu
●マッサージャー／MASSAGER
中野 喜文 NAKANO Yoshifumi

●選手／RIDER
カンパニャーロ シモーネ　CAMPAGNARO Simone
リケーゼ マッシミリアーノ　RICHEZE Maximiliano
ルビアーノ チャヴェス ミゲール アンジェル　RUBIANO CHAVEZ Miguel Angel
佐野 淳哉　SANO Junya
小森 亮平　KOMORI Ryohei

●補欠／REPLACEMENT…バリアーニ フォルチュナート　BALIANI Fortunato　内間 康平 UCHIMA Kohei

## ■シマノレーシングチーム（SMN）
SHIMANO RACING TEAM

●監督／MANAGER
野寺 秀徳 NODERA Hidenori
●メカニック／MECHANIC
大久保 修一 OKUBO Shuichi
●マッサージャー／MASSAGER
鳴島 孝至 NARUSHIMA Takashi

●選手／RIDER
鈴木 真理　SUZUKI Shinri
畑中 勇介　HATANAKA Yusuke
鈴木 譲　SUZUKI Yuzuru
村上 純平　MURAKAMI Junpei
西薗 良太　NISHIZONO Ryota

●補欠／REPLACEMENT…青柳 憲輝 AOYANAGI Kazuki

## ■アルベ-ゲブリューデル ヴァイス-オーベルンドルファー（オーストリア・KTM）
ARBÖ GEBRÜDER WEISS-OBERNDORFER（AUSTRIA）

●監督／MANAGER
ハンツシュ エルマー HANTZSCH Elmar
●メカニック／MECHANIC
中村 力男 NAKAMURA Rikio
●メカニック／MECHANIC
佐藤 雅憲 SATOH Masanori

●選手／RIDER
プリア ラース　PRIA Lars
ラナチェル ルーカス　RANACHER Lukas
ハシベダー トーマス　HASIBEDER Thomas
ウルツェン ヴィクトル　ULZEN Victor

●補欠／REPLACEMENT…クラトフヴィラ ジェイクブ　KRATOCHVILA Jakub　グレーメル フィリップ GRÖMER Philipp

## ■チーム ブリヂストンアンカー（BGT）
TEAM BRIDGESTONE ANCHOR

●監督／MANAGER
藤野 智一 FUJINO Tomokazu
●メカニック／MECHANIC
神馬 有貴 JINBA Yuki
●マッサージャー／MASSAGER
安見 正行 AMI Masayuki

●選手／RIDER
清水 都貴　SHIMIZU Miyataka
狩野 智也　KANO Tomoya
普久原 奨　FUKUHARA Masaru
清水 良行　SHIMIZU Yoshiyuki
井上 和郎　INOUE Kazuo

●補欠／REPLACEMENT…伊丹 健治 ITAMI Kenji　金子 友也 KANEKO Tomoya

## ■トレンガヌ サイクリングチーム（マレーシア・TSG）
TERENGGANU CYCLING TEAM（MALAYSIA）

●監督／MANAGER
アフマド カマルル ビン イドラス AHMAD KAMARUL Bin Idrus
●助監督／ASSISTANT MANAGER
中川 茂 NAKAGAWA Shigeru
●メカニック／MECHANIC
ワン モド ナズリ ビン ワン アフマド WAN MOHD NAZRI Bin Wan Ahmad
●マッサージャー／MASSAGER
モド アズラン ビン オスマン MOHD AZLAN Bin Othman

●選手／RIDER
福島 晋一　FUKUSHIMA Shinichi
奈良 基　NARA Motoi
ドゥ ヒョンキム　DO HYEONG Kim
サレ ハリフ　SALLEH Hariff
マトセナン サウフィ　MAT SENAN Mohammad Saufi

●補欠／REPLACEMENT…マトアミン シャールル MAT AMIN Shahrul　ロズリ モド ノル ウマルディ ROSDI Mohd Nor Umardi

## ■マトリックス パワータグ（MTR）
MATRIX POWERTAG

●監督／MANAGER
安原 昌弘 YASUHARA Masahiro
●メカニック／MECHANIC
中川 康二郎 NAKAGAWA Kojiro
●マッサージャー／MASSAGER
ベック ユルゲン BECK Juergen

●選手／RIDER
真鍋 和幸　MANABE Kazuyuki
ヴィズィアック マリウス　WIESIAK Mariusz
ガロファッロ ヴィンチェンツォ　GAROFALO Vincenzo
向川 尚樹　MUKAIGAWA Naoki
山下 貴宏　YAMASHITA Takahiro

●補欠／REPLACEMENT…小牧 祐也 KOMAKI Yuya　安原 大貴 YASUHARA Daiki

## ■大韓民国自転車競技連盟チーム（KOR）
KOREA CYCLING FEDERATION

●監督／MANAGER
キム ジョンファン KIM Jeong Hwan
●監督／MANAGER
パク サンテク PARK Sang Taek
●メカニック／MECHANIC
ユ ジンソク YOU Jin Seok

●選手／RIDER
ジャン キュング　JANG Kyung Gu
パク ジェヒュン　PARK Jae Hyun
ジョン ウンソン　JEONG Eun Seong
キム ビュンチュル　KIM Byung Chul
ジョ ジェミン　JO Jae Min

## ■シエルヴォ奈良プロサイクリングチーム
CIERVO NARA PRO CYCLING TEAM

●監督／MANAGER
辻 貴光 TSUJI Takamitsu
●コーチ／COACH
横山 光太郎 YOKOYAMA Kotaro
●コーチ／COACH
村上 敦 MURAKAMI Tsuyoshi

●選手／RIDER
松村 光浩　MATSUMURA Mitsuhiro
澤田 賢匠　SAWADA Kensho
高塚 亮輔　TAKATSUKA Ryosuke
河賀 雄大　KAGA Yudai
前園 浩平　MAEZONO Kohei

●補欠／REPLACEMENT…岡崎 陽介 OKAZAKI Yosuke　三明 頼知 MIAKE Yoritomo

# 2011 エントリーチーム ENTRY TEAMS-2

## ■湘南ベルマーレ
SHONAN BELLMARE

●監督／MANAGER
内山 靖樹 UCHIYAMA Yasuki
●メカニック／MECHANIC
平形 仁志 HIRAKATA Hitoshi
●マッサージャー／MASSAGER
須田 晋太郎 SUDA Shintaro

●選手／RIDER
小室 雅成　KOMURO Masanari
山根 理史　YAMANE Masafumi
斉藤 祥太　SAITO Shota
原川 浩介　HARAKAWA Kosuke
頓所 哲郎　TONSHO Tetsuro

●補欠／REPLACEMENT…平林 昌樹 HIRABAYASHI Masaki　中里 仁 NAKAZATO Masaru

## ■京都大学
KYOTO UNIVERSITY

●監督／MANAGER
秋山 尚徳 AKIYAMA Hisanori
●メカニック／MECHANIC
宇野 誓 UNO Sei
●マッサージャー／MASSAGER
森田 早紀 MORITA Saki
森岡 美帆 MORIOKA Miho

●選手／RIDER
奥村 将徳　OKUMURA Masanori
安井 雅彦　YASUI Masahiko
須々田 匠　SUSUDA Takumi
福原 成浩　FUKUHARA Shigehiro
池内 雅裕　IKEUCHI Masahiro

## ■なるしまフレンド レーシングチーム八王子
NALSIMA FREND RACING TEAM HACHIOJI

●監督／MANAGER
漆戸 寛 URUSHIDO Hiroshi
●メカニック／MECHANIC
北川 雅一 KITAGAWA Masakazu

●選手／RIDER
岩島 啓太　IWASHITA Keita
二戸 康寛　NITO Yasuhiro
小畑 郁　OBATA Kaoru
櫻井 一輝　SAKURAI Motoki
若生 正剛　WAKO Seigo

## ■順天堂大学
JUNTENDO UNIVERSITY

●監督／MANAGER
手嶋 敏光 TEJIMA Toshimitsu
●コーチ／COACH
中村 匠 NAKAMURA Takumi
●メカニック／MECHANIC
中務 博司 NAKATSUKASA Hiroshi

●選手／RIDER
中尾 佳祐　NAKAO keisuke
辻本 尚希　TSUJIMOTO Naoki
布施 光　FUSE Hikaru
天野 克紀　AMANO Katsunori
穂積 昂佑　HOZUMI Kosuke

## ■パールイズミ・スミタ・ラバネロ
PEARL IZUMI SUMITA RAVANELLO

●監督／MANAGER
高村 精一 TAKAMURA Seiichi
●コーチ／COACH
高村 香代子 TAKAMURA Kayoko
●メカニック／MECHANIC
斎藤 健吾 SAITO Kengo
●マッサージャー／MASSAGER
軽部 修子 KARUBE Shuko・馬場 さとこ BABA Satoko

●選手／RIDER
栂尾 大知　TOGAO Daichi
大久保 陣　OKUBO Jin
藤岡 克磨　FUJIOKA Katsuma
上村 領佑　UEMURA Ryosuke
角田 昌洋　TSUNODA Masahiro

●補欠／REPLACEMENT…鎌田 圭介 KAMATA Keisuke　鈴木 良則 SUZUKI Yoshinori

## ■法政大学
HOSEI UNIVERSITY

●監督／MANAGER
都甲 泰正 TOGO Yasumasa
●コーチ／COACH
西嶋 良夫 NISHIJIMA Yoshio
●メカニック／MECHANIC
若生 大貴 WAKO Daiki

●選手／RIDER
早川 朋宏　HAYAKAWA Tomohiro
鈴木 近成　SUZUKI Motonari
村崎 海岳　MURASAKI Kaito
福田 大二郎　FUKUDA Daijiro
箭内 優大　YANAI Yudai

●補欠／REPLACEMENT…前川 剛大 MAEKAWA Godai

## ■北海道地域選抜
SELECTED HOKKAIDO

●監督／MANAGER
坂上 信也 SAKAGAMI Shinya
●コーチ／COACH
内山 剛 UCHIYAMA Go
●メカニック／MECHANIC
風間 貴之 KAZAMA Takayuki
●マッサージャー／MASSAGER
菊地 孝明 KIKUCHI Takaaki

●選手／RIDER
バークハウス ブライアン　BARKHOUSE Brian
栗栖 嵩　KURISU Takashi
今田 裕一　IMADA Yuichi
吉村 拓斗　YOSHIMURA Takuto
大坪 優介　OTSUBO Yusuke

●補欠／REPLACEMENT…三輪 俊史 MIWA Toshifumi

## ■早稲田大学
WASEDA UNIVERSITY

●監督／MANAGER
続谷 利次 TSUZUKITANI Toshitsugu
●メカニック／MECHANIC
足立 一真 ADACHI Kazuma

●選手／RIDER
佐々木 龍　SASAKI Ryu
田渕 圭　TABUCHI Kei
大中 巧基　ONAKA Koki
三浦 康嵩　MIURA Yasutaka
佐々木 勇輔　SASAKI Yusuke

●補欠／REPLACEMENT…谷口 雄太郎 TANIGUCHI Yutaro

## ■鹿屋体育大学
NATIONAL INSTITUTE OF FITNESS & SPORTS IN KANOYA

●監督／MANAGER
黒川 剛 KUROKAWA Takeshi
●メカニック／MECHANIC
脇野 栄治 WAKINO Eiji
●マッサージャー／MASSAGER
山口 真耶 YAMAGUCHI Maya

●選手／RIDER
吉田 隼人　YOSHIDA Hayato
山本 元喜　YAMAMOTO Genki
野中 竜馬　NONAKA Ryoma
野口 正則　NOGUCHI Masanori
黒枝 士揮　KUROEDA Shiki

●補欠／REPLACEMENT…徳田 鍛造 TOKUDA Tanzo　長瀬 幸治 NAGASE Koji

## ■北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

●監督／MANAGER
新納 裕樹 NIINO Yuki
●メカニック／MECHANIC
佐々木 健 SASAKI Takeru

●選手／RIDER
冨岡 亮太　TOMIOKA Ryota
木村 竜太郎　KIMURA Ryutaro
相澤 孝至　AIZAWA Takashi
荒井 博紀　ARAI Hironori
佐々木 勇樹　SASAKI Yuki

●補欠／REPLACEMENT…西川 翔太郎 NISHIKAWA Shotaro　三國 海音 MIKUNI Kaito

# 2011 開会式 OPENING CEREMONY

## 9/16（金）帯広市 中央公園

9月16日午前9時00分からツール・ド・北海道2011開会式がスタート会場である帯広市中央公園で開催された。

今年は海外から5チーム、国内から15チームと合わせて20チームで競技が行われた。

参加チームの選手、役員、大会関係者一同は、和やかな雰囲気にも、開会式終了後、同場所から第1ステージ、198kmのロードレースがスタートすることから緊張感が漂う開会式になった。

開会挨拶 山本隆幸 大会長

歓迎の挨拶 米沢則寿 帯広市長

邸 チーフコミセール

会場の様子

●選手宣誓･･･鹿屋体育大学　山本 元喜

「ツール・ド・北海道は今年で25周年という節目の年を迎えました。ここまで支えてくださいました多くの人々に心から感謝申し上げます。

今年、日本は3月の東日本大震災、今月初めの台風により自転車競技でも大変お世話になっている北海道、東北地方、熊野を初めとする多くの地域が被害を受けました。

我々選手一同は被害を受けた人々の心の傷を少しでも癒すことができるようにと、この雄大で緑豊かな北海道の大地を力一杯走り抜くことを誓います。」

チームブリヂストンアンカー
清水選手より北海道カップの返還

各チームの選手

来賓

各チームの選手

役員

色紙へのサイン

# Stage 1

**第1ステージ**
●198kmロードレース
●9:30～15:04

帯広市 ▼ 標茶町

●レースの概要
9時からの開会式に引き続いて、20チーム99名の選手が出走。
道東らしい雄大な景観の中を走る約200kmの長丁場。序盤からアタックと主集団による吸収が続く中、本別、足寄、阿寒のHSでは大声援の中でのスプリントを展開。途中から先行するルビアーノ・チャベス（NIPPO）とジャン・キュング（大韓民国）が双岳台KOMを先頭で通過した後、10名の先頭集団が形成され、その中から抜け出た西薗良太（シマノ）が区間優勝してリーダージャージィ獲得。団体総合時間もシマノレーシングが首位。完走79名。

●レース展開
秋晴れの十勝での第1ステージ。パレード走行直後から集団が活性化し、入れ替わりでアタックが繰り返される。その中で澤田賢匠（シエルヴォ奈良）の逃げが決まって単独で主集団を1分以上離し、これをサレ・ハリフ（トレンガヌ）、リケーゼ・マッシミリアーノ（NIPPO）が追走。この順で本別HSを通過した後、50kmまでに一旦大集団に戻り、30℃の暑さで各自給水に工夫をこらしつつ、再び10人が抜けだし、これに追走者が合流して35名の大集団に。
足寄町HSは、沿道の町民の大声援の中、集団のスプリントとなり、リケーゼ・マッシミリアーノ（NIPPO）、ヴィズィアック・マリウス（マトリックス）、ルビアーノの順。
つづいて、ルビアーノと昨年山岳賞のジャンが集団からアタックし、二人協調して先行、これに昨年登坂で活躍したバークハウス・ブライアン（北海道選抜）が追走。
主集団は鈴木真理、青柳憲輝（NIPPO）らがコントロールし、阿寒町HSでは、ルビアーノ、ジャンの順で通過した後、主集団から順次追走者が出て、最後は8名の追走集団となる。阿寒横断道路双岳台KOMをルビアーノ、ジャンの順で通過した後に、8名の集団が先行2名に追い着き、10名の先頭集団を形成してカーブの多い急な下りを飛ばしていく。
10名のチーム構成は、NIPPO3名（カンパニャーロ、ルビアーノ、佐野）、シマノ3名（畑中、鈴木譲、西薗）、BS2名（普久原、井上）、ジャン、黒枝士輝（鹿屋体大）である。昨年個人総合2位の佐野や国内外で実績を積むNIPPOと、今季Jプロツアーで好成績をあげているシマノの一騎打ちの形となったが、チームの役割分担により序盤の集団内で力を蓄えていたシマノ勢が残り8kmで飛び出し、他チームを順次競り落とし、最後は西薗、畑中勇介がワン・ツー・フィニッシュを決めた。
シマノは作戦通りに選手が動いて思い通りの展開となり、4位にも鈴木譲が入って団体総合時間でもNIPPOを抑えて首位となった。
個人総合時間、ポイントは西薗がリーダー。山岳賞は、双岳台KOMを制したルビアーノが首位。U23では先頭集団10名に加わった黒枝士輝が区間1位となり、リーダーとなった。

沿道の観客

スターター 米沢則寿 帯広市長

第1ステージスタート（帯広市中央公園）

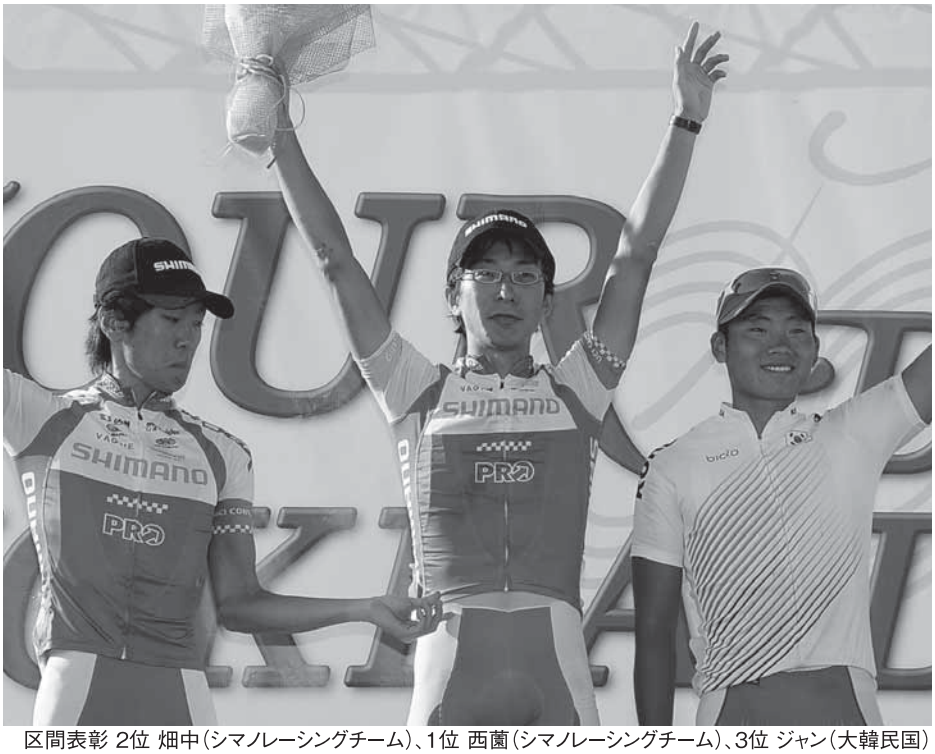
出走サイン

サインを求めるファン

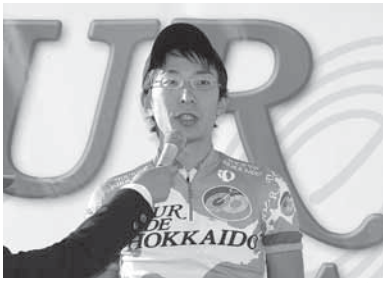
20km地点（池田大橋付近）

補給地点

チビッコ応援団



区間表彰 2位 畑中(シマノレーシングチーム)、1位 西薗(シマノレーシングチーム)、3位 ジャン(大韓民国)



個人総合時間・個人総合ポイント1位
西薗(シマノレーシングチーム)

個人総合時間(U-23)1位
黒枝(鹿屋体大)

個人総合山岳1位 ルビアーノ
(ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO)

歓迎の挨拶 池田裕二 標茶町長

アシスタント 標茶町役場職員
松田菜穂さん、岡田佳奈江さん

小学生の応援(磯分内小学校)

標茶町多和平展望台フィニッシュ地点

## 第1ステージ 競技結果

■個人区間順位
1位 西薗 良太(シマノレーシングチーム) 4:35'48"
2位 畑中 勇介(シマノレーシングチーム)
3位 ジャン キュング(大韓民国自転車競技連盟チーム)

■個人区間順位(U23)
1位 黒枝 士揮(鹿屋体育大学)

■個人総合時間順位
1位 西薗 良太(シマノレーシングチーム)
2位 畑中 勇介(シマノレーシングチーム)
3位 ジャン キュング(大韓民国自転車競技連盟チーム)

■個人総合時間順位(U23)
1位 黒枝 士揮(鹿屋体育大学)

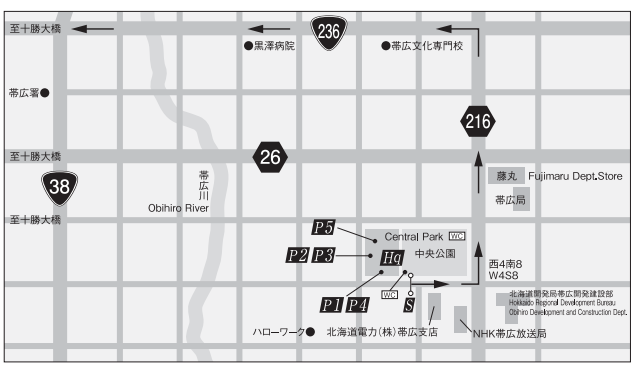
■個人総合ポイント順位
1位 西薗 良太(シマノレーシングチーム)

■個人総合山岳順位
1位 ルビアーノ チャヴェス(ダンジェロ&アンテヌッチィーNIPPO)

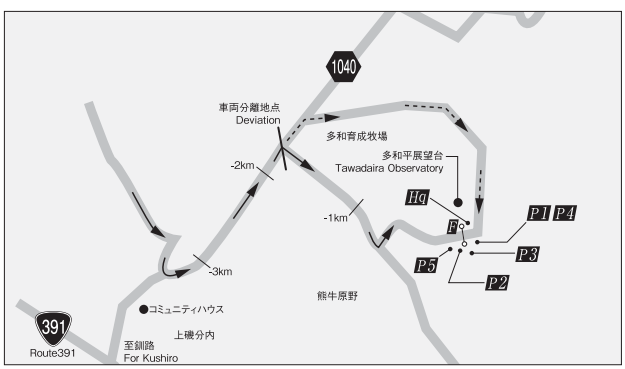
■団体総合時間順位
1位 シマノレーシングチーム
2位 ダンジェロ&アンテヌッチィーNIPPO
3位 チームブリジストンアンカー

## 第1ステージ会場設営図

●スタート




●フィニッシュ



# Stage 2

**第2ステージ**
●210kmロードレース
●9:30～14:54

弟子屈町
▼
鹿追町

●レースの概要
　第2ステージは、序盤の津別峠などKOM2箇所、HS2箇所を含む今大会最長の210km。昨日の挽回を期すチームを中心にアタックが繰り返され、最後は残り15kmから抜け出た3人が逃げ切り、山下貴宏（マトリックス）が区間優勝。14秒差で50人の大集団がフィニッシュ。個人総合時間は西薗良太（シマノ）がリーダーを維持。団体総合でもシマノレーシングが1位を保持。個人総合ポイント賞は狩野智也（ブリヂストン）、個人総合山岳賞は増田成幸（宇都宮ブリッツェン）が首位。U23は山本元喜（鹿屋体大）が区間首位。完走74名。

●レース展開
　本大会随一の標高差のKOM津別峠に向かう序盤から福島晋一（トレンガヌ）、増田成幸、初山翔（宇都宮ブリッツェン）、向川尚樹（マトリックス）、吉田隼人（鹿屋体大）5名のアタックが決まり、津別峠KOMへの登りに入る。登りで集団がバラけ、一人抜け出た増田が1位通過し、ルビアーノ・チャベス（NIPPO）が続く。
　峠を下って、主集団から、狩野智也、清水都貴（ブリヂストン）、福島、吉田の4名が追走し、50km付近で増田を吸収して5名の先頭集団となる。
　大勢の観衆が白熱したレースを見守る津別町HSは、狩野、清水が1、2位で通過。この5名は100kmほど逃げ続け、シマノがコントロールする主集団とは最大3分近い差となった。
　2つ目の足寄町ミルクロードKOMは、再び増田がトップ通過。清水が続く。この下りで、集団からルビアーノ、佐野淳哉らNIPPO勢が追走し、一時は11名の先頭集団となったが、160kmまでには大集団に戻った。
　士幌町HSはコースの両側から町民の盛んな声援が送られる中、NIPPOのルビアーノ、リケーゼが1・2位で通過。この後、集団が活性化し、増田、佐野ら4人が逃げて吸収された後、山本元喜のアタックに反応した狩野、山下貴宏（マトリックス）が合流して3名の先頭グループとなり、主集団から20秒余の差を保って先行する。
　フィニッシュが近づき、NIPPO、宇都宮ブリッツェンらが集団のペースをあげるが、3名も懸命に逃げ粘って鹿追町でのフィニッシュ。山下貴宏が区間優勝、狩野が2位。昨年の第3ステージ同様積極的に牽引役を果たした山本は3位。これに14秒差で50名の大集団がフィニッシュ、リケーゼ（NIPPO）、辻善光（宇都宮）、黒枝士輝（鹿屋体大）の順。
　集団をコントロールし続けたシマノレーシングは、西薗の個人総合時間、団体総合時間とも首位を堅持。個人総合ポイント賞は、HS1位、区間2位の狩野智也が1位。個人総合山岳賞は、この日の2つのKOMでともに首位の増田成幸がルビアーノを逆転してリーダーとなった。
　U23賞は、終盤積極的にアタックした山本元喜が区間トップ、総合では主集団でのスプリントで3着に食い込んだ黒枝士揮が首位を堅持した。

屈斜路湖畔を疾走

スターター 徳永哲雄 弟子屈町長

チーフコミセールによるミーティング

出走サイン

スタート会場 弟子屈町 川湯園地

チビッコ応援団

KOM2 小野コミセールパネル

鹿追町経済観光交流館前フィニッシュ地点

区間表彰 2位 狩野（チームブリヂストンアンカー）、1位 山下（マトリックスパワータグ）、3位 山本（鹿屋体大）

個人総合時間1位
西薗（シマノレーシングチーム）

個人総合時間（U-23）1位
黒枝（鹿屋体大）

歓迎の挨拶 吉田弘志 鹿追町長

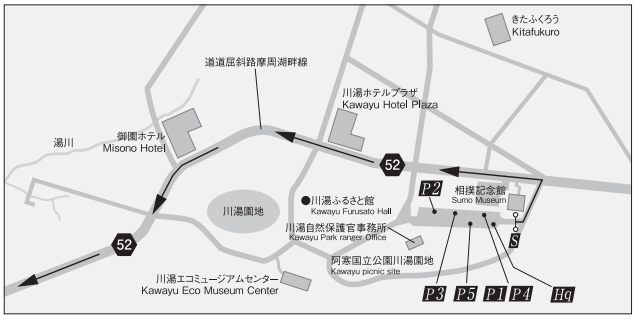
アシスタント 鹿追町教育委員会職員
米澤あや子さん、真野ゆかりさん

個人総合ポイント1位
狩野（チームブリヂストンアンカー）

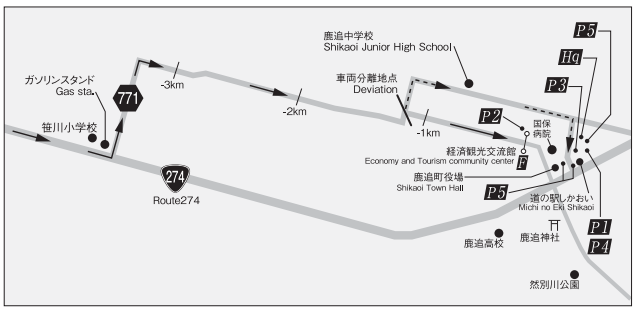
鹿追町特産物の提供

フィニッシュ会場の観客

個人総合山岳1位
増田（宇都宮ブリッツェン）




●スタート




●フィニッシュ

## 第2ステージ 会場設営図

## 第2ステージ 競技結果

■個人区間順位
1位　山下 貴宏（マトリックスパワータグ） 5:20'38"
2位　狩野 智也（チームブリジストンアンカー）
3位　山本 元喜（鹿屋体育大学）

■個人区間順位（U23）
1位　山本 元喜（鹿屋体育大学）

■個人区間山岳順位
1位　増田 成幸（宇都宮ブリッツェン）

■個人総合時間順位
1位　西薗 良太（シマノレーシングチーム）
2位　畑中 勇介（シマノレーシングチーム）
3位　ジャン キュング（大韓民国自転車競技連盟チーム）

■個人総合時間順位（U23）
1位　黒枝 士揮（鹿屋体育大学）

■個人総合ポイント順位
1位　狩野 智也（チームブリジストンアンカー）

■個人総合山岳順位
1位　増田 成幸（宇都宮ブリッツェン）

■団体総合時間順位
1位　シマノレーシングチーム
2位　ダンジェロ&アンテヌッチィーNIPPO
3位　チームブリジストンアンカー

# Stage 3

**第3ステージ**
●171kmロードレース
●9:30～14:01

占冠村
▼
江別市

●レースの概要
第3ステージは、占冠村から夕張市を経て江別市に至る、KOM2箇所を含む171km。前日までの高温から一転して雨が降り続き、濡れた路面にも神経を使うステージとなった。
序盤からハイペースの展開で集団構成も目まぐるしく変化。最後は11名の先頭集団が後続に3分余の差をつけてフィニッシュ。佐野淳哉（NIPPO）が区間優勝、NIPPOは団体総合でシマノを逆転。個人総合時間はジャン・キュング（大韓民国）がリーダーに。個人総合山岳賞はルビアーノ（NIPPO）で決定。U23は早川朋宏（法政大）が区間優勝。完走71名。

●レース展開
序盤から激しい主導権争いの展開となり、ブリヂストン3名（狩野、清水良、井上）、NIPPO2名（カンパニャーロ、ルビアーノ）、福島（トレンガヌ）、ガロファッロ（マトリックス）、吉田（鹿屋体大）に鈴木譲（シマノ）が加わった9名が先行グループを形成。むかわ町穂別のHSでは、鈴木譲が1位で通過。ルビアーノ、カンパニャーロのNIPPO勢が続いた。
その後メイン集団がKOMを前にして逃げを吸収して大集団となり、登川トンネルKOMでは、ルビアーノが1位通過して総合山岳賞トップに。リーダージャージィ西薗良太（シマノ）が続く。

登川KOMの後、先行グループが離合集散を繰り返した後、昨年覇者清水都貴（ブリヂストン）、増田成幸（宇都宮ブリッツェン）のアタックを契機に29名の集団がトップグループを形成した。これには、マトリックスの5名、NIPPOの4名など総合争いの主だった選手が含まれているが、シマノは西薗と鈴木譲の2名という厳しい状況を迎えた。
夕張市街を下って平地部に出た後、リケーゼ・マッシミリアーノ（NIPPO）、澤田賢匠（シエルヴォ奈良）のアタックをガロファッロ、山本元喜（鹿屋体大）が追走して4名で逃げグループを作り、最後のKOM馬追山では、ガロファッロが先頭で通過。
その後に集団からの追走者、カンパニャーロ、ルビアーノ、佐野淳哉、ジャン、ヴィズィアック（マトリックス）、黒枝士揮（鹿屋体大）、早川朋宏（法政大）が合流し、11名で先頭集団を形成。国内外のレースで実績のある選手を揃えたNIPPOを中心に主集団の引き離しにかかる。その主集団では、3名のシマノが個人総合時間リーダー西薗を中心に懸命に追走するも、徐々に引き離されていく。その態勢で江別市野幌総合公園に至り、大観衆が見守る中でのフィニッシュスプリントとなり、佐野が抜け出して区間優勝、早川朋宏（法政大）が2着。ジャン・キュングはリケーゼに寸前で差されて区間4位、ボーナスタイムは得られなかったが個人総合時間のリーダーとなった。この3着争いの結果が、個人総合時間争いに大きな意味を持つこととなった。リケーゼが僅差の首位となった個人総合ポイント賞とともに、明日は総合順位争いが激戦。団体総合時間は、NIPPOがシマノレーシングを逆転して首位となった。個人総合山岳賞は、増田成幸を逆転したルビアーノに決定。U23賞は、黒枝が総合首位を守った。

スタート会場 占冠中学校

スターター 中村 博 占冠村長

出走サイン

審判員

第3ステージスタート会場

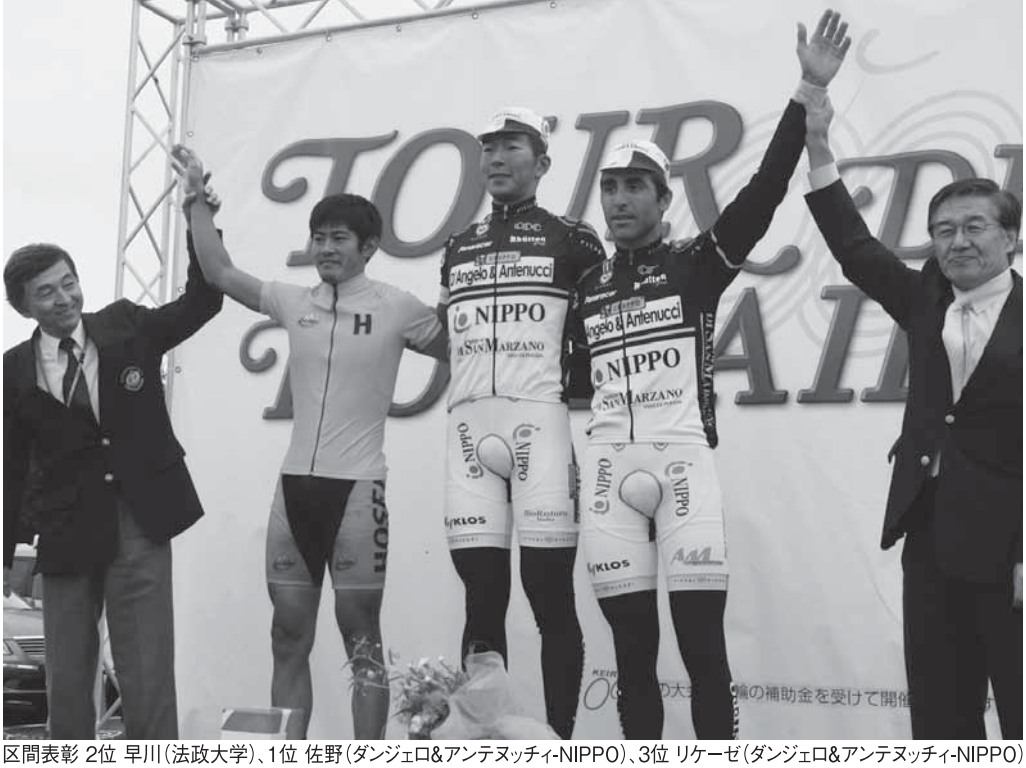
マッサージャー

チャンピオンジャージ着用の2選手（赤・青）

山岳ポイント手前82km地点を疾走

選手とファン

激励を受ける選手


区間表彰 2位 早川(法政大学)、1位 佐野(ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO)、3位 リケーゼ(ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO)

個人総合時間1位
ジャン(大韓民国)

個人総合時間(U-23)1位
黒枝(鹿屋体大)

個人総合ポイント1位
リケーゼ(ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO)

個人総合山岳1位
ルビアーノ(ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO)

野幌総合運動公園フィニッシュ地点

歓迎の挨拶 三好 昇 江別市長

アシスタント 江別市教育委員会職員
高松裕貴子さん、金澤由希さん

本部テント

## 第3ステージ 競技結果

■個人区間順位
1位 佐野 淳哉((ダンジェロ&アンテヌッチィーNIPPO) 3:56'40"
2位 早川 朋宏(法政大学)
3位 リケーゼ マッシミリアーノ(ダンジェロ&アンテヌッチィーNIPPO)

■個人区間順位(U23)
1位 早川 朋宏(法政大学)

■個人区間山岳順位
1位 ルビアーノ チャヴェス(ダンジェロ&アンテヌッチィーNIPPO)
1位 ガロファッロ ヴィンチェンツォ(マトリックスパワータグ)

■個人総合時間順位
1位 ジャン キュング(大韓民国自転車競技連盟チーム)
2位 ルビアーノ チャヴェス(ダンジェロ&アンテヌッチィーNIPPO)
3位 カンパニャーロ シモーネ(ダンジェロ&アンテヌッチィーNIPPO)

■個人総合時間順位(U23)
1位 黒枝 士揮(鹿屋体育大学)

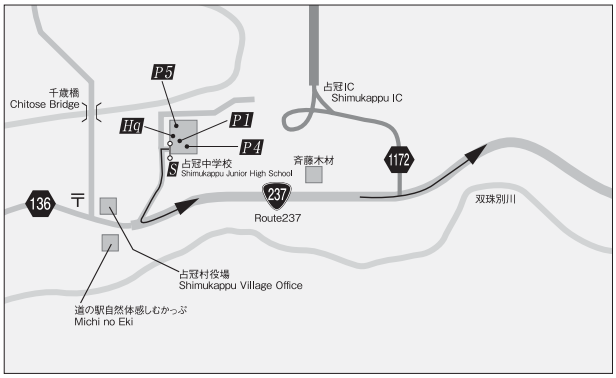
■個人総合ポイント順位
1位 リケーゼ マッシミリアーノ(ダンジェロ&アンテヌッチィーNIPPO)

■個人総合山岳順位
1位 ルビアーノ チャヴェス(ダンジェロ&アンテヌッチィーNIPPO)

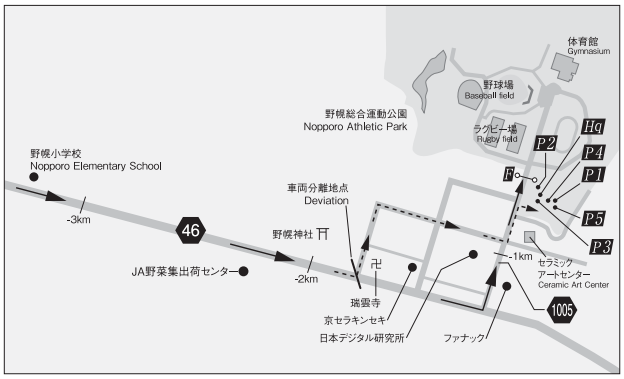
■団体総合時間順位
1位 ダンジェロ&アンテヌッチィーNIPPO
2位 シマノレーシングチーム
3位 マトリックスパワータグ

## 第3ステージ会場設営図

●スタート




●フィニッシュ



# Stage 4

**第4ステージ**
●2.75km個人タイムトライアル
●9:00～10:14

札幌市

**札幌市 Sapporo City**

T.T

●レースの概要と結果

最終ステージはモエレ沼公園内の、平坦基調であるが6つの直角カーブとモエレ山麓標高差10mの登りを含む2.75kmテクニカルなコース。2009年大会までクリテリウムが行われており、その際の1周ラップをもとに推定すると個人TTでは約3分30秒が目安であるが、個人総合時間賞上位4人は30秒以内、特に1、2位は8秒差とわずかなタイム差であり、逆転が可能かどうか微妙なところ。71名の選手が、1分おきに個人総合時間の逆順で一人づつ出走。

序盤、湘南ベルマーレの斉藤翔太、小室正成が暫定1、2位となったのち、11番目出走の中村誠（宇都宮ブリッツエン）が3分32秒49の好タイムをマーク、16番目辻善光、27番目初山翔とともに同チームがホットシートに並んだ。

その直後、28番目青柳憲輝（シマノレーシング）が3分31秒70で暫定首位となった。

この青柳を超えるタイムが暫く出ないなか、56番目福島晋一（トレンガヌ）が3分30秒74でベテランの底力を発揮すると、好タイムが出始め、59番目リケーゼ・マッシミリアーノ（NIPPO）が欧州ツアー歴戦の実力を見せつけ、福島を6秒上回る3分24秒13で断トツ首位となる。

65番目ヴィズィアック・マリウス（マトリックス）も3分30秒を切る29秒32を出したのに続き、佐野淳哉（NIPPO）が3分27秒63でリケーゼに次いでの暫定2位に。更に同チームのカンパニャーロ・シモーネが3分28秒83で上位3人を独占。

そして最後から2人目、ルビアーノ・チャベス（NIPPO）が圧巻の3分20秒36で暫定トップとなり、昨日までで8秒差リーダーであるジャン・キュング（大韓民国）の走りを待つ。

リーダージャージィを着用した最終走者ジャンは、優勝に必要な3分28秒を目指して懸命に力走したが、3分31秒28にとどまり、個人総合時間賞はルビアーノが獲得。昨日決まっていた個人総合山岳賞と合わせて2冠。

個人総合ポイント賞はこの日2位のリケーゼが僅差を守って獲得。

団体総合時間賞は、第4ステージで上位4位まで独占のダンジェロNIPPOが圧勝。

U23賞は、このステージは青柳が1位。総合では黒枝士揮（鹿屋体大）が獲得、鹿屋体大としては7連覇を達成。

本大会は、前半ステージはシマノのチーム力、後半ステージはNIPPOの力強さが目立った。また、マトリックス、宇都宮ブリッツェン、鹿屋体大の積極的な動きも目立ち、さらに、地元北海道勢は沿道の期待に応えて、地域選抜が5名全員が完走、北大富岡亮太も含め奮闘した。

学生では、鹿屋体大勢のほか、U23で3位となった中尾佳祐ら順天堂大勢が層の厚さを示し、学生チャンピオン早川朋宏（法政大）が第3ステージ2位となるなど、母校の名誉にかけて健闘した。

会場 札幌市モエレ沼公園

激走する選手

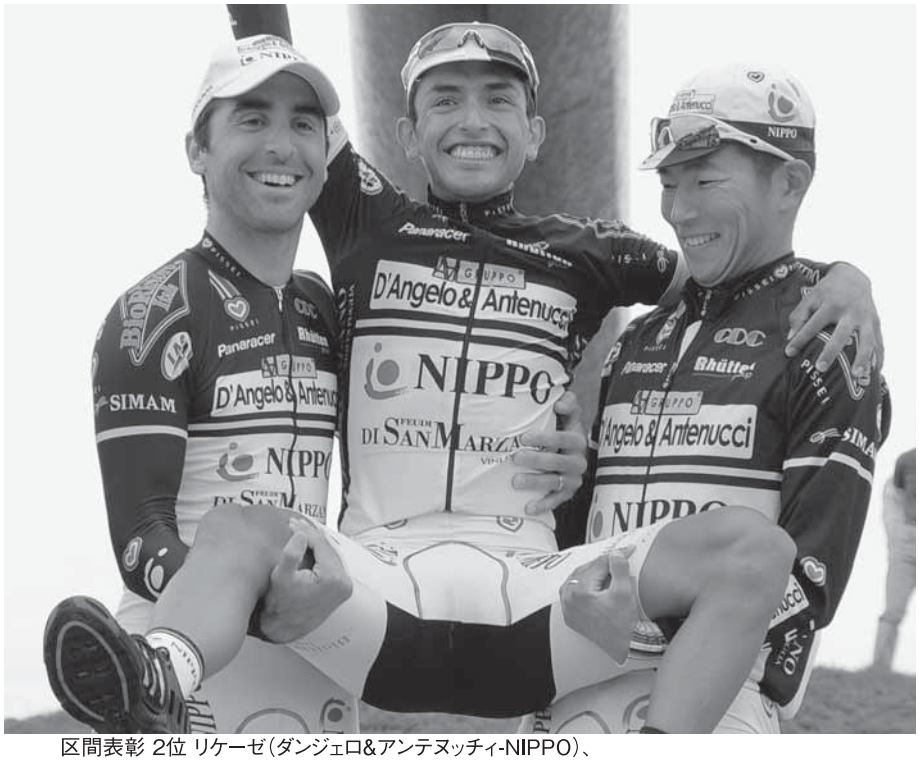
スタート地点

ミーティング

選手とファンの交流

観客

観客




区間表彰 2位 リケーゼ（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）、
1位 ルビアーノ（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）、3位 佐野（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）

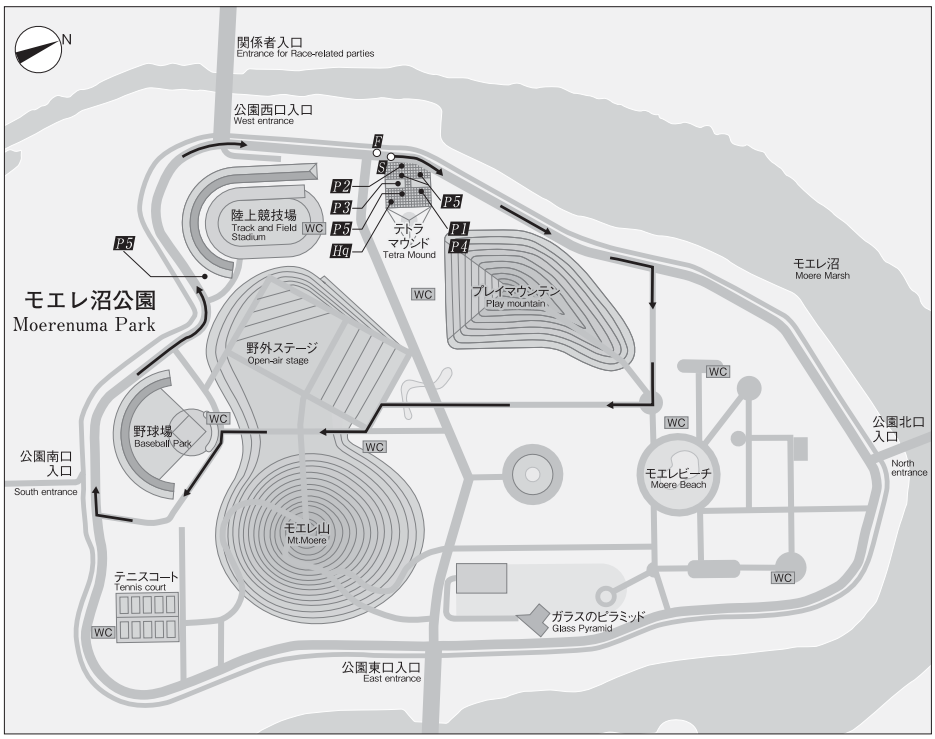
スターター 富原忠夫 副大会長
（財団法人日本自転車競技連盟会長）

個人区間（U-23）1位 青柳（シマノレーシングチーム）

スタート前の選手

## 第4ステージ会場設営図

●スタート・フィニッシュ



本部テント

プレイマウンテンからの応援団

### 第4ステージ　競技結果

■個人区間順位
1位　ルビアーノ チャヴェス（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）　3:20'36"
2位　リケーゼ マッシミリアーノ（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）
3位　佐野　淳哉（（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）

■個人区間順位（U23）
1位　青柳　憲輝（シマノレーシングチーム）

# 2011 最終表彰式 OVERALL AWARDS

## 9/19（月） 札幌市 モエレ沼公園

9月19日（月）10時40分からツール・ド・北海道2011の最終表彰式が国土交通省、北海道、札幌市から来賓を迎え、モエレ沼公園特設会場で開催された。
丸田剛久札幌市観光文化局理事の歓迎の挨拶に引き続き表彰式が行われ、U23特別賞（佐藤杯）は、勇崎恒也大会実行委員長、団体総合時間賞は、川合紀章国土交通省北海道局参事官、個人総合山岳賞は、丸田剛久札幌市観光文化局理事、個人総合ポイント賞は、伊藤敏彦北海道環境生活部道民活動担当局長がそれぞれ授与した。
また、最高の栄誉とされている個人総合時間賞と北海道カップは、綿貫民輔財団法人ツール・ド・北海道協会会長・総裁から手渡された。最後に同綿貫民輔氏の挨拶でツール・ド・北海道2011が終了した。

丸田剛久 札幌市観光文化局理事

綿貫民輔 総裁

勇崎恒也 実行委員会委員長

来賓

来賓

大会役員

会場の様子

団体総合時間賞1位 ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO

団体総合時間賞2位 シマノレーシングチーム

団体総合時間賞3位 マトリックス パワータグ

個人総合時間賞
2位 ジャン（大韓民国）
1位 ルビアーノ（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）
3位 カンパニャーロ（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）

団体総合時間賞 上位3位
1位 ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO
2位 シマノレーシングチーム
3位 マトリックス パワータグ

個人総合時間賞・個人総合山岳賞 1位
ルビアーノ チャヴェス
（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）

個人総合ポイント賞 1位
リケーゼ マッシミリアーノ
（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）

個人総合時間賞（U23）1位
黒枝士輝（鹿屋体大）

ツール・ド・北海道2011 スタッフ

## ●総合（最終）成績●

### 個人総合時間順位

1位 ルビアーノ チャヴェス（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）13:56'47"
2位 ジャン キュング（大韓民国自転車競技連盟チーム）
3位 カンパニャーロ シモーネ（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）
4位 佐野 淳哉（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）
5位 黒枝 士揮（鹿屋体育大学）
6位 山本 元喜（鹿屋体育大学）
7位 ヴィズィアック マリウス（マトリックスパワータグ）
8位 西薗 良太（シマノレーシングチーム）
9位 畑中 勇介（シマノレーシングチーム）
10位 鈴木 譲（シマノレーシングチーム）

### 個人総合ポイント順位

1位 リケーゼ マッシミリアーノ（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）
2位 ルビアーノ チャヴェス（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）
3位 佐野 淳哉（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）

### 個人総合山岳賞

1位 ルビアーノ チャヴェス（ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO）
2位 増田 成幸（宇都宮ブリッツェン）
3位 ジャン キュング（大韓民国自転車競技連盟チーム）

### 団体総合時間順位

1位 ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO……41時間51分20秒
2位 シマノレーシングチーム……42時間01分01秒
3位 マトリックスパワータグ……42時間04分30秒

### 佐藤杯 個人総合時間順位（U23）

1位 黒枝 士揮（鹿屋体育大学）13:58'14"
2位 山本 元喜（鹿屋体育大学）
3位 中尾 桂祐（順天堂大学）

## 個人総合時間賞

| Pl. | Num | SURNAME Forename / 選手名 | Team / チーム名 | Total +Top | U23 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 13 | RUBIANO CHAVEZ Miguel Angel/ルビアーノ チャヴェス ミゲール アンジェル | ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO | 13:56'47" 0:00'00" | |
| 2 | 21 | JANG Kyung Gu/ジャン キュング | 大韓民国自転車競技連盟チーム | 13:56'50" 0:00'03" | |
| 3 | 11 | CAMPAGNARO Simone/カンパニャーロ シモーネ | ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO | 13:57'09" 0:00'22" | |
| 4 | 14 | SANO Junya/佐野 淳哉 | ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO | 13:57'16" 0:00'29" | |
| 5 | 105 | KUROEDA Shiki/黒枝 士揮 | 鹿屋体育大学 | 13:58'14" 0:01'27" | 1 |
| 6 | 102 | YAMAMOTO Genki/山本 元喜 | 鹿屋体育大学 | 13:59'31" 0:02'44" | 2 |
| 7 | 72 | WIESIAK Mariusz/ヴィズィアック マリウス | マトリックスパワータグ | 14:00'01" 0:03'14" | |
| 8 | 65 | NISHIZONO Ryota/西薗 良太 | シマノレーシング | 14:00'07" 0:03'20" | |
| 9 | 62 | HATANAKA Yusuke/畑中 勇介 | シマノレーシング | 14:00'11" 0:03'24" | |
| 10 | 63 | SUZUKI Yuzuru/鈴木 譲 | シマノレーシング | 14:00'24" 0:03'37" | |
| 11 | 73 | GAROFALO Vincenzo/ガロファッロ ヴィンチェンツォ | マトリックスパワータグ | 14:01'00" 0:04'13" | |
| 12 | 3 | FUKUHARA Masaru/普久原 奨 | チーム ブリヂストンアンカー | 14:01'16" 0:04'29" | |
| 13 | 12 | RICHEZE Maximiliano/リケーゼ マッシミリアーノ | ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO | 14:01'19" 0:04'32" | |
| 14 | 5 | INOUE Kazuo/井上 和郎 | チーム ブリヂストンアンカー | 14:01'32" 0:04'45" | |
| 15 | 41 | FUKUSHIMA Shinichi/福島 晋一 | トレンガヌ サイクリングチーム | 14:03'31" 0:06'44" | |
| 16 | 171 | NAKAO keisuke/中尾 佳祐 | 順天堂大学 | 14:03'41" 0:06'54" | 3 |
| 17 | 75 | YAMASHITA Takahiro/山下 貴宏 | マトリックスパワータグ | 14:04'02" 0:07'15" | |
| 18 | 2 | KANOH Tomoya/狩野 智也 | チーム ブリヂストンアンカー | 14:04'45" 0:07'58" | |
| 19 | 71 | MANABE Kazuyuki/真鍋 和幸 | マトリックスパワータグ | 14:05'49" 0:09'02" | |
| 20 | 152 | SAWADA Kensho/澤田 賢匠 | シエルヴォ奈良サイクリングチーム | 14:06'42" 0:09'55" | 4 |
| 21 | 83 | MASUDA Nariyuki/増田 成幸 | 宇都宮ブリッツェン | 14:07'26" 0:10'39" | |
| 22 | 191 | HAYAKAWA Tomohiro/早川 朋宏 | 法政大学 | 14:07'35" 0:10'48" | 5 |
| 23 | 111 | IWASHIMA Keita/岩島 啓太 | なるしまフレンドレーシング八王子 | 14:09'14" 0:12'27" | |
| 24 | 172 | TSUJIMOTO Naoki/辻本 尚希 | 順天堂大学 | 14:09'38" 0:12'51" | 6 |
| 25 | 74 | MUKAIGAWA Naoki/向川 尚樹 | マトリックスパワータグ | 14:11'13" 0:14'26" | |
| 26 | 132 | YASUI Masahiko/安井 雅彦 | 京都大学 | 14:15'57" 0:19'10" | 7 |
| 27 | 33 | CHU Fan Hsin/チュ ファンシン | ジャイアント ケンダ サイクリングチーム | 14:16'16" 0:19'29" | |
| 28 | 1 | SHIMIZU Miyataka/清水 都貴 | チーム ブリヂストンアンカー | 14:16'44" 0:19'57" | |
| 29 | 54 | HASIBEDER Thomas/ハシベダー トーマス | ARBÖｹﾞﾌﾞﾘｭｰﾃﾞﾙｳﾞｧｲｽ・ｵｰﾍﾞﾙﾝﾄﾞﾙﾌｧｰ | 14:17'03" 0:20'16" | |
| 30 | 161 | TOGAO Daichi/栂尾 大知 | パールイズミ・スミタ・ラバネロ | 14:17'05" 0:20'18" | |
| 31 | 173 | FUSE Hikaru/布施 光 | 順天堂大学 | 14:17'10" 0:20'23" | 8 |
| 32 | 104 | NOGUCHI Masanori/野口 正則 | 鹿屋体育大学 | 14:17'18" 0:20'31" | 9 |
| 33 | 42 | NARA Motoi/奈良 基 | トレンガヌ サイクリングチーム | 14:17'46" 0:20'59" | |
| 34 | 4 | SHIMIZU Yoshiyuki/清水 良行 | チーム ブリヂストンアンカー | 14:18'06" 0:21'19" | |
| 35 | 15 | KOMORI Ryohei/小森 亮平 | ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO | 14:18'31" 0:21'44" | |
| 36 | 125 | TONSHO Tetsuro/頓所 哲郎 | 湘南ベルマーレ | 14:20'10" 0:23'23" | |
| 37 | 81 | KAKINUMA Akira/柿沼 章 | 宇都宮ブリッツェン | 14:20'48" 0:24'01" | |
| 38 | 61 | SUZUKI Shinri/鈴木 真理 | シマノレーシング | 14:21'25" 0:24'38" | |
| 39 | 185 | SASAKI Yusuke/佐々木 勇輔 | 早稲田大学 | 14:22'41" 0:25'54" | 10 |
| 40 | 91 | BARKHOUSE Brian/バークハウス ブライアン | 北海道地域選抜 | 14:22'44" 0:25'57" | |
| 41 | 114 | SAKURAI Motoki/櫻井 一輝 | なるしまフレンドレーシング八王子 | 14:22'52" 0:26'05" | |
| 42 | 154 | KAGA Yudai/河賀 雄大 | シエルヴォ奈良サイクリングチーム | 14:22'58" 0:26'11" | 11 |
| 43 | 162 | OKUBO Jin/大久保 陣 | パールイズミ・スミタ・ラバネロ | 14:22'58" 0:26'11" | |
| 44 | 64 | AOYANAGI Kazuki/青柳 憲輝 | シマノレーシング | 14:23'08" 0:26'21" | 12 |
| 45 | 85 | HATSUYAMA Sho/初山 翔 | 宇都宮ブリッツェン | 14:25'25" 0:28'38" | |
| 46 | 113 | OBATA Kaoru/小畑 郁 | なるしまフレンドレーシング八王子 | 14:28'04" 0:31'17" | |
| 47 | 24 | KIM Byung Chul/キム ビュンチュル | 大韓民国自転車競技連盟チーム | 14:28'06" 0:31'19" | |
| 48 | 31 | PENG Kuei Hsiang/ペン クェイシャン | ジャイアント ケンダ サイクリングチーム | 14:30'05" 0:33'18" | |
| 49 | 193 | MURASAKI Kaito/村崎 海岳 | 法政大学 | 14:30'14" 0:33'27" | 13 |
| 50 | 84 | TSUJI Yoshimitsu/辻 善光 | 宇都宮ブリッツェン | 14:31'32" 0:34'45" | |
| 51 | 93 | IMADA Yuichi/今田 裕一 | 北海道地域選抜 | 14:31'35" 0:34'48" | |
| 52 | 95 | OTSUBO Yusuke/大坪 優介 | 北海道地域選抜 | 14:31'37" 0:34'50" | |
| 53 | 112 | NITO Yasuhiro/二戸 康寛 | なるしまフレンドレーシング八王子 | 14:31'42" 0:34'55" | |
| 54 | 94 | YOSHIMURA Takuto/吉村 拓斗 | 北海道地域選抜 | 14:31'44" 0:34'57" | 14 |
| 55 | 194 | FUKUDA Daijiro/福田 大二郎 | 法政大学 | 14:31'44" 0:34'57" | 15 |
| 56 | 141 | TOMIOKA Ryota/冨岡 亮太 | 北海道大学 | 14:31'45" 0:34'58" | |
| 57 | 101 | YOSHIDA Hayato/吉田 隼人 | 鹿屋体育大学 | 14:31'53" 0:35'06" | 16 |
| 58 | 165 | TSUNODA Masahiro/角田 昌洋 | パールイズミ・スミタ・ラバネロ | 14:31'56" 0:35'09" | |
| 59 | 155 | MAEZONO Kohei/前園 浩平 | シエルヴォ奈良サイクリングチーム | 14:33'47" 0:37'00" | 17 |
| 60 | 124 | HARAKAWA Kousuke/原川 浩介 | 湘南ベルマーレ | 14:38'52" 0:42'05" | 18 |
| 61 | 82 | NAKAMURA Makoto/中村 誠 | 宇都宮ブリッツェン | 14:38'59" 0:42'12" | |
| 62 | 121 | KOMURO Masanari/小室 雅成 | 湘南ベルマーレ | 14:45'01" 0:48'14" | |
| 63 | 52 | RANACHER Lukas/ラナチェル ルーカス | ARBÖｹﾞﾌﾞﾘｭｰﾃﾞﾙｳﾞｧｲｽ・ｵｰﾍﾞﾙﾝﾄﾞﾙﾌｧｰ | 14:45'13" 0:48'26" | |
| 64 | 92 | KURISU Takashi/栗栖 嵩 | 北海道地域選抜 | 14:48'23" 0:51'36" | |
| 65 | 131 | OKUMURA Masanori/奥村 将徳 | 京都大学 | 14:48'38" 0:51'51" | 19 |
| 66 | 35 | WANG Yin Chih/ワン インチー | ジャイアント ケンダ サイクリングチーム | 14:48'47" 0:52'00" | |
| 67 | 163 | FUJIOKA Katsuma/藤岡 克磨 | パールイズミ・スミタ・ラバネロ | 14:55'33" 0:58'46" | 20 |
| 68 | 55 | ULZEN Victor/ウルツェン ヴィクトル | ARBÖｹﾞﾌﾞﾘｭｰﾃﾞﾙｳﾞｧｲｽ・ｵｰﾍﾞﾙﾝﾄﾞﾙﾌｧｰ | 14:56'35" 0:59'48" | |
| 69 | 23 | JEONG EUN Seong/ジョン ウンソン | 大韓民国自転車競技連盟チーム | 14:57'11" 1:00'24" | |
| 70 | 123 | SAITO Shota/斉藤 祥太 | 湘南ベルマーレ | 15:16'50" 1:20'03" | |
| 71 | 122 | YAMANE Masafumi/山根 理史 | 湘南ベルマーレ | 15:17'04" 1:20'17" | |

## 個人総合ポイント賞

| Pl. | Num | Rider | Team | Total |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 12 | RICHEZE Maximiliano/リケーゼ マッシミリアーノ | ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO | 49 |
| 2 | 13 | RUBIANO CHAVEZ Miguel Angel/ルビアーノ チャヴェス ミゲール アンジェル | ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO | 47 |
| 3 | 14 | SANO Junya/佐野 淳哉 | ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO | 42 |
| 4 | 21 | JANG Kyung Gu/ジャン キュング | 大韓民国自転車競技連盟チーム | 35 |
| 5 | 2 | KANOH Tomoya/狩野 智也 | チーム ブリヂストンアンカー | 30 |
| 6 | 65 | NISHIZONO Ryota/西薗 良太 | シマノレーシング | 28 |
| 7 | 75 | YAMASHITA Takahiro/山下 貴宏 | マトリックスパワータグ | 28 |
| 8 | 102 | YAMAMOTO Genki/山本 元喜 | 鹿屋体育大学 | 28 |
| 9 | 62 | HATANAKA Yusuke/畑中 勇介 | シマノレーシング | 28 |
| 10 | 11 | CAMPAGNARO Simone/カンパニャーロ シモーネ | ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO | 26 |
| 11 | 105 | KUROEDA Shiki/黒枝 士揮 | 鹿屋体育大学 | 26 |
| 12 | 72 | WIESIAK Mariusz/ヴィズィアック マリウス | マトリックスパワータグ | 26 |
| 13 | 63 | SUZUKI Yuzuru/鈴木 譲 | シマノレーシング | 23 |
| 14 | 191 | HAYAKAWA Tomohiro/早川 朋宏 | 法政大学 | 20 |
| 15 | 73 | GAROFALO Vincenzo/ガロファッロ ヴィンチェンツォ | マトリックスパワータグ | 14 |
| 16 | 152 | SAWADA Kensho/澤田 賢匠 | シエルヴォ奈良サイクリングチーム | 12 |
| 17 | 84 | TSUJI Yoshimitsu/辻　善光 | 宇都宮ブリッツェン | 12 |
| 18 | 3 | FUKUHARA Masaru/普久原 奨 | チーム ブリヂストンアンカー | 8 |
| 19 | 111 | IWASHIMA Keita/岩島 啓太 | なるしまフレンドレーシング八王子 | 8 |
| 20 | 5 | INOUE Kazuo/井上 和郎 | チーム ブリヂストンアンカー | 7 |
| 21 | 41 | FUKUSHIMA Shinichi/福島 晋一 | トレンガヌ サイクリングチーム | 5 |
| 22 | 1 | SHIMIZU Miyataka/清水 都貴 | チーム ブリヂストンアンカー | 5 |
| 23 | 54 | HASIBEDER Thomas/ハシベダー トーマス | ARBÖｹﾞﾌﾞﾘｭｰﾃﾞﾙｳﾞｧｲｽ･ｵｰﾍﾞﾙﾝﾄﾞﾙﾌｧｰ | 5 |
| 24 | 171 | NAKAO keisuke/中尾 佳祐 | 順天堂大学 | 4 |
| 25 | 74 | MUKAIGAWA Naoki/向川 尚樹 | マトリックスパワータグ | 4 |
| 26 | 162 | OKUBO Jin/大久保 陣 | パールイズミ･スミタ･ラバネロ | 4 |
| 27 | 4 | SHIMIZU Yoshiyuki/清水 良行 | チーム ブリヂストンアンカー | 3 |
| 28 | 104 | NOGUCHI Masanori/野口 正則 | 鹿屋体育大学 | 2 |
| 29 | 83 | MASUDA Nariyuki/増田 成幸 | 宇都宮ブリッツェン | 1 |
| 30 | 161 | TOGAO Daichi/栂尾 大知 | パールイズミ･スミタ･ラバネロ | 1 |
| 31 | 64 | AOYANAGI Kazuki/青柳 憲輝 | シマノレーシング | 1 |

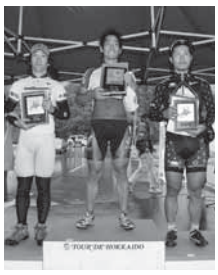
## 個人総合山岳賞

| Pl. | Num | SURNAME Forename / 選手名 | Team / チーム名 | Total |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 13 | RUBIANO CHAVEZ Miguel Angel/ルビアーノ チャヴェス ミゲール アンジェル | ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO | 20 |
| 2 | 83 | MASUDA Nariyuki/増田 成幸 | 宇都宮ブリッツェン | 17 |
| 3 | 21 | JANG Kyung Gu/ジャン キュング | 大韓民国自転車競技連盟チーム | 11 |
| 4 | 65 | NISHIZONO Ryota/西薗 良太 | シマノレーシング | 8 |
| 5 | 63 | SUZUKI Yuzuru/鈴木 譲 | シマノレーシング | 6 |
| 6 | 73 | GAROFALO Vincenzo/ガロファッロ ヴィンチェンツォ | マトリックスパワータグ | 5 |
| 7 | 1 | SHIMIZU Miyataka/清水 都貴 | チーム ブリヂストンアンカー | 5 |
| 8 | 14 | SANO Junya/佐野 淳哉 | ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO | 4 |
| 9 | 11 | CAMPAGNARO Simone/カンパニャーロ シモーネ | ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO | 3 |
| 10 | 2 | KANOH Tomoya/狩野 智也 | チーム ブリヂストンアンカー | 3 |
| 11 | 152 | SAWADA Kensho/澤田 賢匠 | シエルヴォ奈良サイクリングチーム | 3 |
| 12 | 102 | YAMAMOTO Genki/山本 元喜 | 鹿屋体育大学 | 2 |
| 13 | 41 | FUKUSHIMA Shinichi/福島 晋一 | トレンガヌ サイクリングチーム | 2 |
| 14 | 12 | RICHEZE Maximiliano/リケーゼ マッシミリアーノ | ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO | 1 |
| 15 | 85 | HATSUYAMA Sho/初山 翔 | 宇都宮ブリッツェン | 1 |
| 16 | 101 | YOSHIDA Hayato/吉田 隼人 | 鹿屋体育大学 | 1 |

## 団体総合時間賞

| Pl. | Team / チーム名 | Total | Behind |
|---|---|---|---|
| 1 | D'ANGELO & ANTENUCCI - NIPPO/ダンジェロ&アンテヌッチィ-NIPPO | 41:51'20" | |
| 2 | SHIMANO RACING TEAM/シマノレーシング | 42:01'01" | 0:09'41" |
| 3 | MATRIX POWERTAG/マトリックスパワータグ | 42:04'30" | 0:13'10" |
| 4 | BRIDGESTONE ANCHOR/チーム ブリヂストンアンカー | 42:07'24" | 0:16'04" |
| 5 | NIFS in KANOYA/鹿屋体育大学 | 42:15'07" | 0:23'47" |
| 6 | JUNTENDO UNIVERSITY/順天堂大学 | 42:30'29" | 0:39'09" |
| 7 | CIERVO NARA PRO CYCLING TEAM/シエルヴォ奈良サイクリングチーム | 42:48'07" | 0:56'47" |
| 8 | UTSUNOMIYA BLITZEN/宇都宮ブリッツェン | 42:50'31" | 0:59'11" |
| 9 | NALSIMA FREND RACING TEAM/なるしまフレンドレーシング八王子 | 43:00'10" | 1:08'50" |
| 10 | HOSEI UNIVERSITY/法政大学 | 43:09'39" | 1:18'19" |
| 11 | PEARL IZUMI SUMITA RAVANELLO/パールイズミ･スミタ･ラバネロ | 43:10'05" | 1:18'45" |
| 12 | GIANT KENDA CYCLING TEAM/ジャイアント ケンダ サイクリングチーム | 43:19'43" | 1:28'23" |
| 13 | KOREA CYCLING FEDERATION/大韓民国自転車競技連盟チーム | 43:22'13" | 1:30'53" |
| 14 | SELECTED HOKKAIDO/北海道地域選抜 | 43:25'52" | 1:34'32" |
| 15 | SHONAN BELLMARE/湘南ベルマーレ | 43:43'49" | 1:52'29" |
| 16 | ARBÖ GEBRÜDER WEISS OBERNDORFER/ARBÖｹﾞﾌﾞﾘｭｰﾃﾞﾙｳﾞｧｲｽ･ｵｰﾍﾞﾙﾝﾄﾞﾙﾌｧｰ | 43:58'51" | 2:07'31" |

# 市民レース CITIZEN RACE 2011



## 9/17〔sat〕夕張市

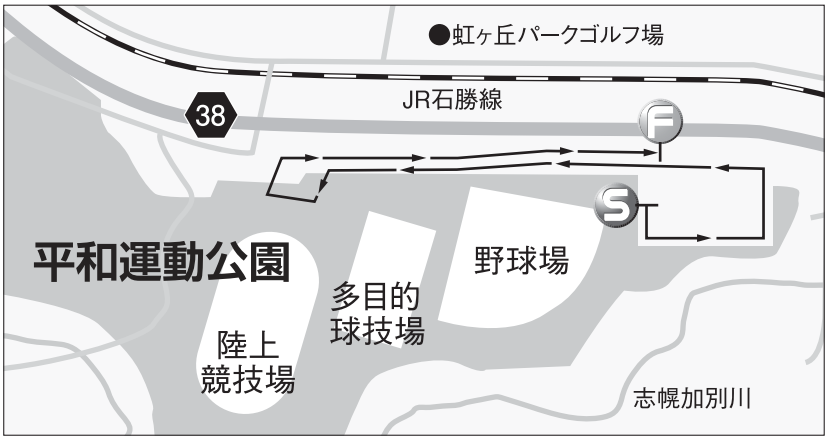
### ●個人タイムトライアル

Individual time trial

・夕張市 平和運動公園特設コース‥‥1.0km

・歓迎の挨拶・スターターは、鈴木 直道 夕張市長

## ■コース図




## ■成績一覧

### ●1クラス JCF登録　エリート

| 順位 | ナンバー | 氏名 | 都道府県 | タイム |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 37 | 中村　龍太郎 | 長野県 | 1:25.32 |
| 2 | 66 | 下谷地　雄三 | 北広島市 | 1:26.84 |
| 3 | 13 | 熊坂　和也 | 札幌市 | 1:27.40 |

### ●2クラス/上級　S-2

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 131 | フリーマントルマーク | 鹿児島県 | 1:27.57 |
| 2 | 118 | 一丸　忠生 | 鹿児島県 | 1:28.48 |
| 3 | 123 | 佐藤　和彦 | 札幌市 | 1:29.45 |

### ●3クラス/中級　S-3

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 282 | 大村　健一 | 旭川市 | 1:31:44 |
| 2 | 204 | 野崎　雅嗣 | 札幌市 | 1:31:63 |
| 3 | 228 | 田平　基樹 | 長野県 | 1:31:73 |

### ●4クラス/40歳未満　S-4

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 427 | 芦沢　右史 | 河西郡 | 1:33:31 |
| 2 | 350 | 畑瀬　大樹 | 中川郡 | 1:34:74 |
| 3 | 303 | 井上　順貴 | 札幌市 | 1:34:99 |

### ●5クラス/55歳未満　S-5

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 508 | 佐々木　章人 | 江別市 | 1:37:27 |
| 2 | 504 | 竹脇　陸 | 北広島市 | 1:37:77 |
| 3 | 519 | 池田　勇登 | 苫小牧市 | 1:38:23 |

### ●6クラス/55歳以上　M(マスター)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 718 | 渓　勇司 | 東京都 | 1:36:01 |
| 2 | 710 | 駒谷　修 | 夕張郡 | 1:38:78 |
| 3 | 714 | 橋本　光男 | 青森県 | 1:42:21 |

### ●7クラス/一般女子　L(女子)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 804 | 米田　和美 | 札幌市 | 1:41:48 |
| 2 | 805 | 秋元　星奈 | 札幌市 | 1:43:82 |
| 3 | 801 | 松田　千裕 | 紋別郡 | 1:44:83 |

### ●8クラス/高校男子　J

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 908 | 松本　和也 | 札幌市 | 1:32:07 |
| 2 | 901 | 佐藤　駿 | 札幌市 | 1:33:55 |
| 3 | 918 | 奥間　知葉 | 沖縄県 | 1:33:95 |

### ●9クラス/中学男子　C-1

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 955 | 孫崎　大樹 | 大阪府 | 1:35:15 |
| 2 | 957 | 難波　秀伍 | 札幌市 | 1:36:60 |
| 3 | 959 | 池田　悠一郎 | 様似郡 | 1:36:74 |

### ●11クラス/小学5・6年　S-2

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 1004 | 中谷　亮太 | 札幌市 | 1:48:68 |
| 2 | 1005 | 木綿　宏太 | 上川郡 | 1:49:59 |
| 3 | 1012 | 高木　元 | 札幌市 | 1:52:38 |

### ●12クラス/小学3・4年　S-3

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 1201 | ビンセント　マダファリ | 札幌市 | 2:02:83 |
| 2 | 1205 | 中谷　研斗 | 札幌市 | 2:06:98 |
| 3 | 1202 | 後藤　瞬良 | 札幌市 | 2:10:52 |

### ●13クラス/小学1・2年　S-4

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 1302 | 山田　祐輝 | 旭川市 | 2:25:39 |
| 2 | 1305 | 中静　淳 | 札幌市 | 2:30:39 |
| 3 | 1307 | 木綿　理子 | 帯広市 | 2:36:07 |

# 市民レース CITIZEN RACE 2011

## 9/18〔sun〕むかわ町・夕張市～江別市

### ●ロードレース Road Race

**A** むかわ町（穂別地球体験館前）～
江別市（野幌総合運動公園）･･･109km

・歓迎の挨拶・スターターは、山口 憲造 むかわ町長

**B** 夕張市（平和運動公園前）～
江別市（野幌総合運動公園）･･･66km

・歓迎の挨拶・スターターは、小林 信男 夕張市教育委員会教育長
・フィニッシュ地点での歓迎の挨拶は、三好 昇 江別市長

## ■コース図

## ■成績一覧

### ●1クラス JCF登録　エリート

| 順位 | ナンバー | 氏名 | 都道府県 | タイム |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 37 | 中村　龍太郎 | 長野県 | 2:51:20 |
| 2 | 20 | 本谷　涉 | 札幌市 | 2:51:25 |
| 3 | 21 | 今野　衛 | 千葉県 | 2:51:26 |

### ●2クラス/上級　S-2

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 120 | 遠藤　佳輔 | 山形県 | 2:51:27 |
| 2 | 131 | フリーマントルマーク | 鹿児島県 | 2:51:27 |
| 3 | 130 | 松永　慎太郎 | 鹿児島県 | 2:51:27 |

### ●3クラス/中級　S-3

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 220 | 時田　幸雄 | 神奈川県 | 1:40:44 |
| 2 | 214 | 加藤　明豊 | 愛知県 | 1:40:44 |
| 3 | 221 | 藤代　和男 | 千葉県 | 1:40:44 |

### ●4クラス/40歳未満　S-4

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 386 | 今井　太郎 | 上川郡 | 1:41:01 |
| 2 | 427 | 芦沢　右史 | 河西郡 | 1:42:47 |
| 3 | 423 | 清水　乾 | 虻田郡 | 1:42:48 |

### ●5クラス/55歳未満　S-5

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 503 | 橋本　勝利 | 函館市 | 1:43:26 |
| 2 | 596 | 一宇　直樹 | 江別市 | 1:43:44 |
| 3 | 576 | 元野　和広 | 札幌市 | 1:43:47 |

### ●6クラス/55歳以上　M（マスター）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 714 | 橋本　光男 | 青森県 | 1:40:49 |
| 2 | 718 | 渓　裕司 | 東京都 | 1:48:04 |
| 3 | 710 | 駒谷　修 | 夕張郡 | 1:48:08 |

### ●7クラス/一般女子　L

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 804 | 米田　和美 | 札幌市 | 1:42:47 |
| 2 | 821 | 池田　ゆめこ | 札幌市 | 1:46:16 |
| 3 | 816 | 橋本　佳苗 | 札幌市 | 1:48:08 |

### ●8クラス/高校男子　J

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 901 | 佐藤　駿 | 札幌市 | 2:51:26 |
| 2 | 918 | 奥間　知葉 | 沖縄県 | 2:51:26 |
| 3 | 908 | 松本　和也 | 札幌市 | 2:58:12 |

### ●9クラス/中学男子　C-1

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 955 | 孫崎　大樹 | 大阪府 | 1:40:44 |
| 2 | 957 | 難波　秀伍 | 札幌市 | 1:40:45 |
| 3 | 964 | 中川　拳 | 河東郡 | 1:40:46 |

# 市民レース CITIZEN RACE 2011

## 9/19〔mon〕札幌市

### ●クリテリウム

Criterium

モエレ沼公園周回コース…1周 2.75km

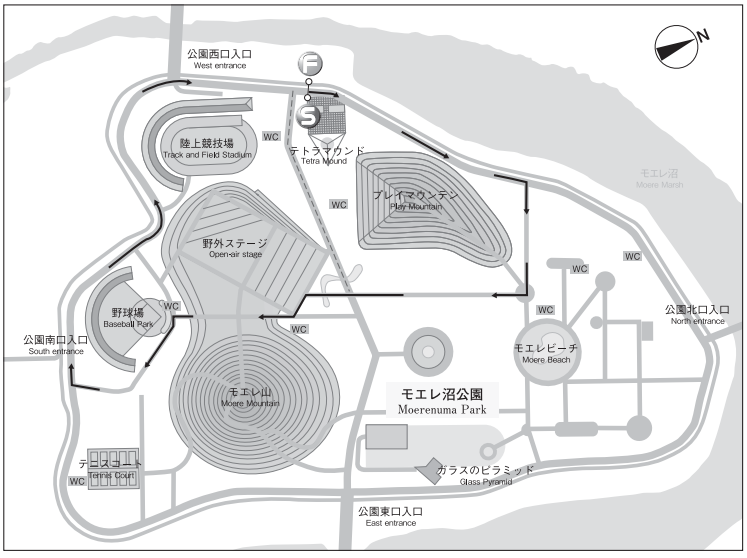
・100m　・1.5km　・2.75km

・13.7km（2.75km×5周）　・22.0km（2.75km×8周）

・36.0km（2.75km×13周）

・スターターは、綿貫 民輔 総裁

## ■コース図




## ■成績一覧

### ●1クラス JCF登録　エリート

| 順位 | ナンバー | 氏名 | 都道府県 | タイム |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 22 | 斉藤　敦 | 東京都 | 0:48:10 |
| 2 | 902 | 小橋　勇利 | 愛媛県 | 0:49:48 |
| 3 | 37 | 中村　龍太郎 | 長野県 | 0:49:48 |

### ●2クラス/上級　S-2

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 131 | フリーマントルマーク | 鹿児島県 | 0:48:09 |
| 2 | 130 | 松永　慎太郎 | 鹿児島県 | 0:49:49 |
| 3 | 118 | 一丸　忠生 | 鹿児島県 | 0:49:49 |

### ●3クラス/中級　S-3

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 204 | 野崎　雅嗣 | 札幌市 | 0:20:13 |
| 2 | 202 | 大山　譲 | 千葉県 | 0:20:13 |
| 3 | 214 | 加藤　明豊 | 愛知県 | 0:20:13 |

### ●4クラス/40歳未満　S-4

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 344 | 大橋　純也 | 兵庫県 | 0:20:12 |
| 2 | 306 | 中村　章 | 札幌市 | 0:20:13 |
| 3 | 335 | 宮本　薫 | 札幌市 | 0:20:18 |

### ●5クラス/55歳未満　S-5

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 502 | 田中　勝 | 江別市 | 0:21:01 |
| 2 | 605 | 沢田　健一 | 札幌市 | 0:21:02 |
| 3 | 503 | 橋本　勝利 | 函館市 | 0:21:02 |

### ●6クラス/55歳以上　M（マスター）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 705 | 村上　昌美 | 室蘭市 | 0:21:01 |
| 2 | 710 | 駒谷　修 | 夕張郡 | 0:21:01 |
| 3 | 714 | 橋本　光男 | 青森県 | 0:21:01 |

### ●7クラス/一般女子　L

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 816 | 橋本　佳苗 | 札幌市 | 0:21:00 |
| 2 | 804 | 米田　和美 | 札幌市 | 0:21:00 |
| 3 | 821 | 池田　ゆめこ | 札幌市 | 0:21:01 |

### ●8クラス/高校男子　J

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 918 | 奥間　知葉 | 沖縄県 | 0:49:51 |
| 2 | 901 | 佐藤　駿 | 札幌市 | 0:53:53 |
| 3 | 908 | 松本　和也 | 札幌市 | 0:53:54 |

### ●9クラス/中学男子　C-1

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 955 | 孫崎　大樹 | 大阪府 | 0:20:53 |
| 2 | 961 | 山田　裕介 | 北斗市 | 0:20:59 |
| 3 | 957 | 難波　秀伍 | 札幌市 | 0:21:00 |

### ●10クラス/中学女子　CL

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 981 | 小林　梨乃 | 札幌市 | 0:22:35 |

### ●11クラス/小学5・6年　C-2

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 1004 | 中谷　亮太 | 札幌市 | 0:09:08 |
| 2 | 1007 | 山上　優人 | 札幌市 | 0:09:10 |
| 3 | 1006 | 榎木　涼雅 | 砂川市 | 0:09:51 |

### ●12クラス/小学3・4年　C-3

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 1201 | ビンセント　マダファリ | 札幌市 | 0:05:12 |
| 2 | 1202 | 後藤　瞬良 | 札幌市 | 0:05:14 |
| 3 | 1205 | 中谷　研斗 | 札幌市 | 0:05:31 |

### ●13クラス/小学1・2年　C-4

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 1305 | 中静　淳 | 札幌市 | 0:02:58 |
| 2 | 1301 | 三谷　朝弥 | 江別市 | 0:03:07 |
| 3 | 1302 | 山田　祐輝 | 旭川市 | 0:03:09 |

### ●14クラス　幼児

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 1414 | 木綿　崚介 | 帯広市 | 0:00:17 |
| 2 | 1403 | 山谷　墾 | 札幌市 | 0:00:19 |
| 2 | 1406 | 青山　卓睦 | 札幌市 | 0:00:20 |

# ツール・ド・北海道2011 賛助会員名簿

●法人

社団法人 旭川建設業協会
網走建設業協会
財団法人 石狩川振興財団
小樽建設協会
帯広建設業協会
社団法人 寒地港湾技術研究センター
釧路建設業協会
財団法人 港湾空港建設技術サービスセンター北海道支部
一般社団法人 札幌建設業協会
札幌自転車競技連盟
一般社団法人 空知建設業協会
社団法人 函館建設業協会
社団法人 北海道開発技術センター
財団法人 北海道開発協会
一般財団法人 北海道河川財団
財団法人 北海道コンクリート技術センター
北海道自転車軽自動車商業協同組合
社団法人 北海道商工会議所連合会
一般社団法人 北海道測量設計業協会
財団法人 北海道道路管理技術センター
社団法人 北海道土地改良建設協会
社団法人 北海道土地改良設計技術協会
社団法人 北海道トラック協会
社団法人 室蘭建設業協会
留萌建設協会
稚内建設協会

赤川建設興業株式会社
秋津道路株式会社
旭イノベックス株式会社
株式会社アサヒ建設コンサルタント
あすなろ道路株式会社
綾羽株式会社
荒井建設株式会社
株式会社生駒組
勇建設株式会社
株式会社 石山組
株式会社伊藤組
伊藤組土建 株式会社
株式会社伊藤工業
岩倉建設株式会社
岩田地崎建設 株式会社
株式会社エーティック
SMBC日興証券株式会社第二公益法人部
株式会社 園建
応用地質株式会社 札幌支社
大江建設株式会社
株式会社大林組 札幌支店
大林道路株式会社 北海道支店
株式会社ガイアートT・K 北海道支店
株式会社開発工営社
鹿島道路株式会社 北海道支店
片山ストラテック株式会社北海道営業所
株木建設株式会社 札幌支店
鎌田輪業有限会社
機械開発北旺株式会社
株式会社岸田組
岸本産業 株式会社
北電力設備工事株式会社
北日本港湾コンサルタント株式会社
協和八光建設株式会社
株式会社近代設計 札幌支社
草野作工株式会社
株式会社小池工業
株式会社構研エンジニアリング
国策建設 株式会社
有限会社サイクル小野サッポロ
札建工業 株式会社
札幌建設運送株式会社
三共電気工業株式会社
株式会社サン広告社
三和航測株式会社 北海道支社
しずお建設株式会社
清水建設株式会社 北海道支店
株式会社シン技術コンサル
新太平洋建設株式会社
新島工業株式会社
新日石トレーディング株式会社
新谷建設株式会社
杉原建設 株式会社
世紀東急工業株式会社 北海道支店
株式会社総北海 札幌支社
大成ロテック株式会社 北海道支社
大地コンサルタント株式会社
大同舗道株式会社
大北土建工業株式会社
株式会社ダイヤコンサルタント北海道支社
ダイレックス株式会社
株式会社 田中組
株式会社田中工業
株式会社谷脇組
株式会社ダブルス
株式会社玉川組
株式会社田宮設計事務所
株式会社丹野組
株式会社地圏総合コンサルタント札幌支店
地崎道路株式会社 北海道支店
中央コンサルタンツ株式会社 札幌支店
株式会社長大 札幌支社
株式会社通電技術
ツバメ工業株式会社
鉄建建設株式会社 札幌支店
電通設備 株式会社
東亜道路工業株式会社 北海道支社
株式会社東京鐵骨橋梁 北海道支店
道興加茂株式会社
東光舗道株式会社
株式会社道南土木
株式会社東洋実業
道路建設株式会社
道路工業株式会社
株式会社ドーコン
ドーピー建設工業株式会社 北海道支店
戸田建設株式会社 札幌支店
戸田道路株式会社 札幌営業所
飛島建設株式会社 札幌支店
株式会社ドボク管理
株式会社土木技術コンサルタント
豊平製鋼株式会社
中道リース株式会社
株式会社 中山組
西松建設株式会社 札幌支店
株式会社日栄建設
日測技研株式会社
株式会社日鉄エレックス室蘭支店
日本高圧コンクリート株式会社
日本工営株式会社 札幌支店
日本データーサービス株式会社
日本電設工業株式会社北海道支店
日本道路株式会社 北海道支店
株式会社間組 札幌支店
橋場建設株式会社
パシフィックコンサルタンツ株式会社
株式会社橋本川島コーポレーション
株式会社パスコ 札幌支店
株式会社八州 北海道支社
長谷川産業株式会社
花本建設株式会社
パブリックコンサルタント株式会社
東日本道路株式会社
株式会社廣野組
冨士新舗道株式会社
株式会社不動テトラ 北海道支店
株式会社北英建設
北央道路工業株式会社
北斗徽章株式会社
北土建設 株式会社
北都道路 株式会社
株式会社北開水工コンサルタント
北海道空港 株式会社
北海道建設業信用保証株式会社
株式会社北海道新聞社
北海道電力 株式会社
北海道道路エンジニアリング株式会社
北海道ロードメンテナンス株式会社
前田建設工業株式会社 北海道支店
前田道路株式会社 北海道支店
丸建道路株式会社 札幌支店
丸駒建設株式会社
丸彦渡辺建設株式会社
三井住建道路株式会社 北海道支店
三井造船株式会社 北海道支社
三津橋建設株式会社
宮永建設株式会社
村井建設 株式会社
明治コンサルタント株式会社
株式会社盛永組
株式会社森本商会
株式会社山田組
山田塗装株式会社 札幌支店
株式会社山伏パコム
山本電子工業株式会社
株式会社ユアテック 北海道支社
株式会社リブテック

●個人

阿部　芳昭
牛島　元嗣
河淵　伸宏
栗生　賢一
清崎　晶雄
千葉　　修
恒松　　浩
松尾　徹郎
渡辺　総悦

●発行／財団法人ツール・ド・北海道協会　●発行日／平成23年10月25日

TOUR DE HOKKAIDO

〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目 北四条ビル4階
Kita 4-jo Bldg. North 4,West 6, Chuo-ku, Sapporo, 060-0004 Japan
(財)ツール・ド・北海道協会／Tour de Hokkaido Association
電話(011)222-5922 ファックス(011)232-4604
Tel+81-11-222-5922 Fax+81-11-232-4604
http://www.tour-de-hokkaido.or.jp
E-mail tourde-h@spice.ocn.ne.jp
E-mail tourdech@jasmine.ocn.ne.jp(for English)

(財)日本自転車競技連盟／JAPAN CYCLING FEDERATION
電話(03)3582-3713 ファックス(03)5561-0508
Tel+81-3-3582-3713 Fax+81-3-5561-0508
http://www.jcf.or.jp
E-mail cycling@japan-sports.or.jp

UNION CYCLISTE INTERNATIONALE（国際自転車競技連合）
TEL+41-24-468-5811 FAX+41-24-468-5812

NIPPO ホクレン SUBARU

KEIRIN

この大会は、競輪の補助金を受けて
開催いたしました。

http://ringring-keirin.jp